

令和9年度 学生募集要項

総合型選抜Ⅰ 「へるん入試」

(大学入学共通テストを課さない総合型選抜)

法文学部
教育学部
人間科学部
総合理工学部
材料エネルギー学部
生物資源科学部

出願期間	令和8年10月1日(木)～7日(水)
試験日	令和8年11月14日(土)・15日(日)
合格発表	令和8年12月1日(火)
入学手続期間	令和8年12月2日(水)～8日(火)



人とともに 地域とともに

島根大学

SHIMANE UNIVERSITY

大学入学共通テストを課さない 島根大学 総合型選抜Ⅰ「へるん入試」

「へるん入試」の名称の由来

「へるん」とは、小泉八雲（ラフカディオ・ハーン 1850～1904）のことで、ハーンが滞在した松江では、親しみをこめて今でも「へるん」と呼称しています。ハーンは、文学者・新聞記者・民俗学者・英語教師などとして多方面で才能を発揮し、異文化の架け橋となりました。「へるん」の魅力と才能の多様性を、高校生の持つ多様な可能性に重ね合わせました。

「へるん入試」は、高校生の皆さんに、自分らしい学びを主体的につくっていかうとする意欲を持ってほしい、そしてその意欲を島根大学での学びにつなげてほしい、との願いから生まれました。

キーワードは「学びのタネ」

高校生のみなさんが持っている好奇心と探究心を「学びのタネ」と名付けました。感動、違和感、疑問、課題意識、貢献意識・・・これらはぜんぶ「学びのタネ」です。

教科の授業や総合的な探究の時間、あるいは部活動の中で感動したこと、あるいは疑問に思ったことをきっかけとして学びを深めようとしたこと、解決したい課題の解決策を考え提言し、周囲の協力を得ながら動き出してみたこと、「学びのタネ」から何かやってみたいこと、本気で探究したり、夢中になって取り組んだことが、大学の学びにつながるのです。

「学びのタネ」は、具体的な資格や、すでに達成された成果に限るものではありません。今はまだ、皆さんの心の中にある志向とか興味といった目に見えないもの、ささやかなものなのかもしれません。しかし、「学びのタネ」を育てていくことで、自分の能力や活躍できるフィールドはどんどん深く明確になります。やがて、自分に必要な学びを自分でデザインできるようになり、人生を切り拓く力が蓄えられてくるのです。

そんな皆さんの成長をサポートしたいとの願いが「へるん入試」には込められています。あなたの「学びのタネ」を島根大学で育ててみませんか。

「へるん入試」が求める学生像

- ・大学の学びに必要な基礎的学力を有する人
- ・特定の学問・教科や活動に関心を持ち、それに継続的に向き合ったことのある人
- ・知的好奇心を持ち、それを主体的・積極的な探究により深めた経験のある人
- ・他者と協働して何かをなし、それを自らの学びに役立てたことのある人

入試種別

総合型選抜Ⅰ「へるん入試」	へるん一般型		
	へるん特定型	地域志向入試（島根県・鳥取県枠）、（全国枠）	
		専門高校入試	
		グローバル英語入試	
		芸術・スポーツ入試	

総合型選抜Ⅰ「へるん入試」の試験日程等一覧

試験 区分	学 部	学科・課程・専攻等	募集人員（人）						出願期間	試験日	合格発表	入学手続	入学式	
			へるん 一般型	へるん特定型										
				地域志向 （島根県・ 鳥取県枠）	地域志向 （全国枠）	専門高校	グローバル 英語	芸術・ス ポーツ						
総合型選抜Ⅰ	法文学部	法経学科	23	6	6	2	6		10月1日(木) 〃 10月7日(水)	＜第1次選考＞ 書類選考 ＜第2次選考＞ 11月14日（土） 〃 11月15日（日） ※教育学部 学校教育課程Ⅱ類 は11月14日 （土）のみ	＜第1次選考＞ 10月27日（火） ＜第2次選考＞ 12月1日（火） 12月8日(火)	12月2日(水) 〃 12月8日(火)	4月2日(金)	
		社会文化学科	13											
		言語文化学科	14											
		小計	50	6	6	2	6							
	教育学部	学校教育課程Ⅰ類	22	20										
		学校教育課程Ⅱ類	保健体育科 教育専攻											3
			音楽科 教育専攻											5
			美術科 教育専攻											2
		小計	22	20										10
	人間科学部	人間科学科	21	8			3							
		小計	21	8			3							
	総合理工学部	総合理工学科	先端ものづくり 分野	91	14	4	4	7						
			数理データサイエ ンス・IT・デジタル分野				4							
			自然環境・住環 境分野				4							
		小計	91	14	4	12	7							
	材料エネルギー学部	材料エネルギー学科	12	8			3	3						
		小計	12	8			3	3						
	生物資源科学部	生命科学科	22	9	3		3							
		農林生産学科	15			5								
		環境共生科学科	16			7								
		小計	53	9	3	12	3							
	計			249	65	13	32	19						10

※ 合格者が募集人員に満たないときは、不足した人員を一般選抜（前期日程）の募集人員に加えます。
※ 教育学部の総合型選抜Ⅰ「へるん入試」地域志向入試（島根県枠・鳥取県枠）は地域教員育成型（島根県枠）10名、地域教員育成型（鳥取県枠）10名の合計20名です。

- ・ 法学部：総合型選抜Ⅰ「へるん入試」（地域志向入試）
- ・ 教育学部：総合型選抜Ⅰ「へるん入試」（地域志向入試）
- ・ 人間科学部：総合型選抜Ⅰ「へるん入試」（地域志向入試）
- ・ 医学部：一般選抜前期日程（県内定着枠）（注）、学校推薦型選抜Ⅱ
- ・ 総合理工学部：総合型選抜Ⅰ「へるん入試」（地域志向入試）
- ・ 材料エネルギー学部：総合型選抜Ⅰ「へるん入試」（地域志向入試）
- ・ 生物資源科学部：総合型選抜Ⅰ「へるん入試」（地域志向入試）

〔注〕医学部医学科一般枠前期日程（県内定着枠）及び緊急医師確保対策枠学校推薦型選抜の募集人員等を含めた内容については文部科学省と協議中であり、変更になる可能性があります。協議の結果については、学生募集要項でご確認ください。

島根大学入試情報ホームページ <https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/>

アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)

島根大学はどのような教育を目指し、どのような人を求めるか

《求める人材像》

島根大学は、学術の中心として深く真理を探究し、豊かな人間性と高度な専門性を身につけ、世界的視野を持って平和な国際社会の発展と社会進歩のために奉仕する人材を養成するため、次のような学生を国内外から求めます。

- 大学での学びに必要な高等学校段階の基礎的学力を有し、自然、社会とその歴史、学術文化、人間などに対する知的好奇心と高い学修意欲を有する人
- 地域社会や世界の諸課題について自らとの関係において課題を発見し、必要な情報を収集しながら、論理的思考のもとで探究し続けようとする人
- 価値観の異なる他者とも、協働や対話を通じて相互理解を図ろうとする人
- 深く思考する過程を通じて自ら判断し、自分の意見や着想を分かりやすく表現しようとする人

《入学者選抜の基本方針》

これらの人を受け入れるため、各学部・学科・課程及び各研究科・専攻等において、適切な選抜方法を定め入学者選抜を実施します。

各学部、学科、専攻等のアドミッション・ポリシー

各学部、学科、専攻等のアドミッション・ポリシーは次の項目により成り立っています。

- 求める学生像
- 入学者選抜の基本方針
- 各選抜方法における求める力（評価する力） *1

*1 各選抜方法と求める力（評価する力）を対応表にして記載しています。

◎を付している項目は、各選抜方法で重点的に評価する項目を示しています。

《法文学部》

島根大学法文学部は、すべての人が平和と豊かさを享受できる社会を実現するために、広い教養と基礎的専門知識を身につけ、創造的・実践的能力をもって現代社会や地域社会が抱えるさまざまな問題を解決できる力をもった人の育成を目指しています。

そのために、法文学部の3つの学科(法経学科・社会文化学科・言語文化学科)では、次の方針で入学者を選抜します。

■法経学科

【求める学生像】

法経学科では、法学と経済学の両面から社会について学びます。地域社会には、環境、少子高齢化、地方分権、中山間地域、地域振興等、解決すべき課題が山積しています。また、市民生活という点では、労働、家族、経済等における新しい動きをどのようにとらえるかが問題となっています。これらの課題解決に必要とされる法学・経済学の基本的な知識と応用力を身につけ、分析能力・政策立案能力や問題処理能力を養います。

そのために、複雑な社会問題を分析し解決する能力として、法学および経済学を学ぶことで得られる法的思考力、政策立案能力、課題解決能力を自ら積極的に身につけたいという意欲のある学生を求めています。

そのため、以下に掲げる学力・意欲をもつ学生を受け入れます。

1. (知識・技能) 法学と経済学を学ぶために必要な高等学校段階の基礎的な学力を十分に身につけ、社会に対する知的好奇心と高い学修意欲を有する人
2. (思考力・判断力・表現力) 自分とは異なる考えや価値観からも学ぶ姿勢をもち、自分の意見や着想を的確に論理立てて表現できる人
3. (主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度) 国際社会と地域社会が抱える政治や法制度、経済に関する諸問題に関心を持ち、自ら主体的に考え行動しようとする人
4. (主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度) 社会が抱えるさまざまな課題に対して、柔軟な思考力を身に付け、協働や対話を通じて相互理解を図ろうとする人

なお法経学科で学ぶ前には、法学・経済学を学ぶために必要な高等学校段階の基礎的・基本的な学力を身につけておく必要があります。

【入学者選抜の基本方針】

法経学科では、以下の入学者選抜を実施します。

区分		基本方針
一般選抜	前期日程	【基礎的知識と思考力を重視】 大学入学共通テストと、教科・科目に係る個別テスト(「英語」「国語」)を課し、学力の3要素(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)のなかでも、とくに各教科の基礎的な知識を幅広く習得しているか、習得した知識を活用して問題を解くための思考力を身につけているかを中心に評価し、選抜を行います。
	後期日程	【基礎的知識と読解力・分析力・思考力・表現力を重視】 大学入学共通テストと、教科・科目に係る個別テスト(「総合問題」)を課し、学力の3要素を総合的に評価するとともに、とくに読解力、分析力、思考力、表現力をもっているかを重視して評価し、選抜を行います。
総合型選抜Ⅰ	へるん一般型	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。
	地域志向入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。さらに、「地域志向レポート」に基づいて「地域志向面接」を行い、地域への興味・関心を評価します。
	専門高校入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。さらに、「専門教科の成績」により、専門学科での実績を評価します。
	グローバル英語入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。なお、別に定める外部英語検定試験の一定の資格・スコアを有することを出願要件とし、「グローバル英語入試志望理由書」に基づいて「英語面接」を行い、英語の活用能力を評価します。

また、選抜方法における求める力(評価する力)と各入試区分における配点を次のとおり定めます。なお、選抜区分ごとに定められた実施教科・科目・配点及び合否判定の基準の詳細は、受験年度の「学生募集要項」でご確認ください。

区分		選抜方法	知識技能	読解力 思考力 表現力	主体性 協働性	知的好奇心 探究心	地域への 興味・関心	専門学科に 関する能力	英語 能力
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○					
	後期日程	教科・科目に係る個別テスト	◎	○					
総合型選抜Ⅰ	へるん一般型	大学入学共通テスト	◎	○					
		教科・科目に係る個別テスト	○	◎	○				
		「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎			
	地域志向入試	読解・表現力試験		◎					
		志望理由書を用いた「面接」	○		○	◎			
		「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎			
		読解・表現力試験		◎					
		志望理由書を用いた「面接」	○		○	◎			
		地域志向レポートに基づいた「地域志向面接」					◎		
	専門高校入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎			
		読解・表現力試験		◎					
		志望理由書を用いた「面接」	○		○	◎			
		専門教科の成績						◎	
	グローバル英語入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎			
		読解・表現力試験		◎					
		志望理由書を用いた「面接」	○		○	◎			
		グローバル英語入試志望理由書に基づいた「英語面接」							◎
		英語資格・検定試験							◎

《法文学部》

■社会文化学科

【求める学生像】

社会文化学科では、人文・社会諸科学から社会と地域の現状とその歴史的背景について学びます。特に調査や実習等を通じて体験的に学ぶことを重視し、総合的視野に立って理論的・実証的に分析できる能力を身につけます。

そのために、社会と地域の現状や歴史的背景に関心があり、これらを理論的・実証的に分析・探究する方法を学び、その知識と経験を社会で役立てたいという意欲のある学生を求めています。

そのため、以下に掲げる学力・意欲をもつ学生を受け入れます。

1. (知識・技能) 人文・社会諸科学を学ぶために必要な高等学校段階の基礎的な学力を十分に身につけている人
2. (思考力・判断力・表現力) 客観的に物事をとらえ、深く考え、必要な情報を収集しながら、論理的に深く考えて自ら判断し、自らの言葉でわかりやすく表現しようとする人
3. (主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度) 人間や社会に関する様々な問題を総合的に探究するため、社会学・地理学・文化人類学・考古学・歴史学といった初めて学ぶ諸科学に、旺盛な関心と熱意を持っている人
4. (主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度) 多様な人々と協働して、社会の諸問題に主体性をもって取り組む意欲を持っている人

なお、社会文化学科で学ぶ前には、人文・社会諸科学を学ぶために必要な高等学校段階の基礎的・基本的な学力を身につけておくことが必要です。

【入学選抜の基本方針】

社会文化学科では、以下の入学選抜を実施します。

区分		基本方針
一般選抜	前期日程	【基礎的知識と思考力を重視】 大学入学共通テストと、教科・科目に係る個別テスト(「英語」「国語」)を課し、学力の3要素(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)のなかでも、とくに各教科の基礎的な知識を幅広く習得しているか、習得した知識を活用して問題を解くための思考力を身につけているかを中心に評価し、選抜を行います。
	後期日程	【基礎的知識と読解力・分析力・思考力・表現力を重視】 大学入学共通テストと、教科・科目に係る個別テスト(「総合問題」)を課し、学力の3要素を総合的に評価するとともに、とくに読解力、分析力、思考力、表現力をもっているかを重視して評価し、選抜を行います。
総合型選抜Ⅰ	へるん一般型	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。
	地域志向入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。さらに、「地域志向レポート」に基づいて「地域志向面接」を行い、地域への興味・関心を評価します。
	専門高校入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。さらに、「専門教科の成績」により、専門学科での実績を評価します。
	グローバル英語入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。なお、別に定める外部英語検定試験の一定の資格・スコアを有することを出願要件とし、「グローバル英語入試志望理由書」に基づいて「英語面接」を行い、英語の活用能力を評価します。

また、選抜方法における求める力(評価する力)と各入試区分における配点を次のとおり定めます。なお、選抜区分ごとに定められた実施教科・科目・配点及び合否判定の基準の詳細は、受験年度の「学生募集要項」でご確認ください。

区分		選抜方法	知識 技能	読解力 思考力 表現力	主体性 協働性	知的好奇心 探究心	地域への 興味・関心	専門学科に 関する能力	英語 能力
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○					
		教科・科目に係る個別テスト	◎	○					
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○					
		教科・科目に係る個別テスト	○	◎	○				
総合型選抜Ⅰ	へるん一般型	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎			
		読解・表現力試験		◎					
		志望理由書を用いた「面接」	○		◎	◎			
	地域志向入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎			
		読解・表現力試験		◎					
		志望理由書を用いた「面接」	○		◎	◎			
		地域志向レポートに基づいた「地域志向面接」					◎		
	専門高校入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎			
		読解・表現力試験		◎					
		志望理由書を用いた「面接」	○		◎	◎			
		専門教科の成績						◎	
	グローバル英語入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎			
		読解・表現力試験		◎					
		志望理由書を用いた「面接」	○		◎	◎			
		グローバル英語入試志望理由書に基づいた「英語面接」							◎
		英語資格・検定試験							◎

《法文学部》

■言語文化学科

【求める学生像】

言語文化学科は、既存の言説を批判的に検討し問題を解決する能力を持った人、人文学の豊かな教養と知識をもって、山陰地域のみならず国内外の社会・文化の維持発展に貢献できる人の育成を目的に掲げています。この目的を達成するため、本学科では「教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)」に則り、基礎的な専門知識、批判的な思考力や問題発見力、データ収集・分析力、論理的な思考力を身につける教育を行っています。

このような人物育成を目指すにあたり、以下に掲げる学力・意欲をもつ学生を求めます。

1. (知識・技能) 人文学を学ぶために必要な高等学校段階の基礎的な学力、とりわけ国語・英語の学力を十分に身につけており、書物をじっくり読むことができる人
2. (思考力・判断力・表現力) 文章を正確に読解し、論理的に思考し、そのプロセスや結論を的確に表現する力がある人
3. (主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度) 文化・文学・言語に関心をもち、その学びを活かして地域社会や国際社会に貢献したいと考えている人

なお言語文化学科で学ぶ前には、人文学を学ぶために必要な高等学校段階の基礎的・基本的な学力を身につけておく必要があります。

【入学選抜の基本方針】

言語文化学科では、以下の入学選抜を実施します。

区分		基本方針
一般選抜	前期日程	【 基礎的知識と思考力を重視 】 大学入学共通テストと、教科・科目に係る個別テスト(「英語」「国語」)を課し、学力の3要素(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)のなかでも、とくに各教科の基礎的な知識を幅広く習得しているか、習得した知識を活用して問題を解くための思考力を身につけているかを中心に評価し、選抜を行います。
	後期日程	【 基礎的知識と読解力・分析力・思考力・表現力を重視 】 大学入学共通テストと、教科・科目に係る個別テスト(「総合問題」)を課し、学力の3要素を総合的に評価するとともに、とくに読解力、分析力、思考力、表現力をもっているかを重視して評価し、選抜を行います。
総合型選抜Ⅰ	へるん一般型	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。
	地域志向入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。さらに、「地域志向レポート」に基づいて「地域志向面接」を行い、地域への興味・関心を評価します。
	専門高校入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。さらに、「専門教科の成績」により、専門学科での実績を評価します。
	グローバル英語入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。なお、別に定める外部英語検定試験の一定の資格・スコアを有することを出願要件とし、「グローバル英語入試志望理由書」に基づいて「英語面接」を行い、英語の活用能力を評価します。

また、選抜方法における求める力(評価する力)と各入試区分における配点を次のとおり定めます。なお、選抜区分ごとに定められた実施教科・科目・配点及び可否判定の基準の詳細は、受験年度の「学生募集要項」でご確認ください。

区分		選抜方法	知識 技能	読解力 思考力 表現力	主体性 協働性	知的好奇心 探究心	地域への 興味・関心	専門学科に 関する能力	英語 能力
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○					
		教科・科目に係る個別テスト	◎	○					
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○					
		教科・科目に係る個別テスト	○	◎	○				
総合型選抜Ⅰ	へるん一般型	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎			
		読解・表現力試験		◎					
		志望理由書を用いた「面接」	○		○	◎			
	地域志向入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎			
		読解・表現力試験		◎					
		志望理由書を用いた「面接」	○		○	◎			
		地域志向レポートに基づいた「地域志向面接」					◎		
	専門高校入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎			
		読解・表現力試験		◎					
		志望理由書を用いた「面接」	○		○	◎			
		専門教科の成績						◎	
	グローバル英語入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎			
		読解・表現力試験		◎					
		志望理由書を用いた「面接」	○		○	◎			
		グローバル英語入試志望理由書に基づいた「英語面接」							◎
		英語資格・検定試験							◎

●求める学生像

島根大学教育学部では、特色ある教育課程のもとで教師になることを希望する、次のような学生を求めます。

1. 高等学校段階の基礎的学力を備えており、教師に要求される専門的知識・技能を深く学ぼうとする人。
2. 豊かな人間性、子どもに対する愛情、教育的情熱を有する人。
3. 論理的思考のもとで、自ら課題を発見し探究する姿勢を有する人。
4. 他者との協働や対話を図りながら、社会の発展に貢献しようとする人。

以上の受入方針に基づいて一般選抜・総合型選抜を行い、教師をめざす多様な資質・能力を有する学生を受け入れます。

●入学者選抜の基本方針

区分		課程・専攻	基本方針
一般選抜	前期日程	学校教育課程Ⅰ類	【基礎的知識と思考力を重視】 大学入学共通テストでは、各教科の基礎的な知識を幅広く習得しているかを評価します。 「小論文」では、提示された課題に対する理解と文章表現を通して、教職への興味・関心、論理的思考力、表現力について評価します。
		保健体育科教育専攻	【基礎的知識と実技能力を重視】 大学入学共通テストでは、各教科の基礎的な知識を幅広く習得しているかを評価します。 「実技」では、入学後専攻での学習に必要な実技について、技術や能力などを評価します。選択種目試験では基礎的技能を試験し、また特技種目試験では基礎技能と応用技能を試験し、その種目に関する能力や適性を総合的に評価します。
		音楽科教育専攻	【基礎的知識と実技能力を重視】 大学入学共通テストでは、各教科の基礎的な知識を幅広く習得しているかを評価します。 「実技」では、入学後専攻での学習に必要な実技について、技術や能力などを評価します。全員対象試験では基礎的音楽能力を、特技試験では音楽表現のための技術的到達度と表現能力を試験します。
		美術科教育専攻	【基礎的知識と実技能力を重視】 大学入学共通テストでは、各教科の基礎的な知識を幅広く習得しているかを評価します。 「実技」では、入学後専攻での学習に必要な実技について、造形に関する基本的な表現能力を試験し、技術や能力などを評価します。
	後期日程	学校教育課程Ⅰ類	【基礎的知識と教職への意欲・適性を重視】 大学入学共通テストでは、各教科の基礎的な知識を幅広く習得しているかを評価します。 「ペーパーインタビュー」では、志望理由や自分自身の経験・興味の記述を通して、教職への意欲・適性と、表現力を評価します。
総合型選抜Ⅰ	へるん一般型	学校教育課程Ⅰ類	【読解力・思考力・表現力、主体的な学びの経験と教職への意欲を重視】 「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価するとともに、教職への意欲や適性について評価します。
	へるん特定型 地域志向入試 (地域教員育成型)		【読解力・思考力・表現力、主体的な学びの経験と教職への意欲を重視】 「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価するとともに、教職への意欲や適性について評価します。また、「教職への学びレポート」では、将来の教職につながる学びの経験や構想について評価します。

《教育学部》

区分		課程・専攻	基本方針
総合型選抜Ⅰ	へるん 特定型 芸術・ スポーツ 入試	当該専門分野を学ぼうとする強い興味・関心、そのために必要な基礎的能力・経験等を有する学生を求めます。	
		保健 体育科 教育専攻	【読解力・思考力・表現力，保健体育の専門性に関する主体的な学びの経験と教職への意欲を重視】 「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。また、保健体育に関する興味・関心、学習意欲などを中心に、教職への意欲や適性などについて評価します。さらに、「実技」では、保健体育における実技の学習に必要な基礎的運動能力について試験を行い、「スポーツ活動調書」の記載内容を点数化します。
		音楽科 教育専攻	【読解力・思考力・表現力，音楽の専門性に関する主体的な学びの経験と教職への意欲を重視】 「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。また、志望する音楽分野に関する興味・関心、学習意欲などを総合的に評価します。さらに、「実技」では、専門的な実技力、教職に欠かせないピアノの基礎的な演奏能力を評価します。
		美術科 教育専攻	【読解力・思考力・表現力，美術の専門性に関する主体的な学びの経験と教職への意欲を重視】 「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。また、美術に関する興味・関心、基礎的内容の理解等を中心に、教職への意欲や適性について評価します。さらに、「実技」では、水彩画の制作をとおして、描写力、構成力、色彩感覚等を試験し、「美術活動調書」の内容と総合して評価します。

●各選抜方法における求める力（評価する力）

区分		選抜方法	知識 技能	読解力 思考力 表現力	協調 協働性	知的好奇心 探究心	実技能力	教職への 意欲・適性	地域への 志向
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	◎					
		小論文		◎				◎	
		実技					◎		
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	◎					
		ペーパーインタビュー		◎				◎	
総合型選抜Ⅰ	へるん一般型	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎			
		読解・表現力試験		◎					
		志望理由書を用いた「面接」	◎		◎	◎		◎	
	へるん特定型 地域志向入試 (地域教員育成型)	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎			
		教職への学びレポート		◎				◎	◎
		読解・表現力試験		◎					
		志望理由書を用いた「面接」	◎		◎	◎		◎	
	へるん特定型 芸術・スポーツ入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎			
		読解・表現力試験		◎					
		志望理由書を用いた「面接」	◎		◎	◎		◎	
		実技(※)					◎		

(※)保健体育科教育専攻の「スポーツ活動調書」、美術科教育専攻の「美術活動調書」を含みます。

《人間科学部》

■人間科学科

●求める学生像

人間科学部人間科学科は、身体活動・健康科学コース、心理学コース、福祉社会コースの3コースからなり、多様な視点に基づく人間理解を通じて、地域社会の発展に貢献できるような人材育成をめざしています。このような観点から、本学部では次のような学生を求めています。

1. 大学で学ぶ上で必要となる、高等学校段階までの基礎的な学力を十分に身につけている人
2. 人間に対して積極的な関心を持ち、多角的な人間理解の必要性を感じている人
3. 人間が抱える問題の多様な現実を知り、その解決策を模索していこうとする意欲をもつ人
4. 地域社会に対して積極的な関心を持ち、他者と協働しながら、地域社会が抱える問題の解決に主体的に取り組もうとする姿勢をもつ人

●入学者選抜の基本方針

区分		基本方針
一般選抜	前期日程	【基礎的知識と思考力・判断力・表現力を重視】 大学入学共通テスト(6教科または7教科)と教科・科目に係る個別テスト(「英語」「国語」「数学」から任意の2教科を選択)とを課し、広範な基礎的知識を身につけているか、また、基礎的知識を活用して思考・判断・表現する力を備えているか、評価します。(配点の割合は、学力試験100%)
	後期日程	【基礎的知識と主体性・協働性を重視】 大学入学共通テスト(3教科)を課し、当該教科に関わる基礎的知識や思考力等を身につけているか、評価します。その際、多角的な人間理解に不可欠の言語運用能力に関わる教科として「国語」または「外国語」を必須とします。また、「個人面接」では、本学部で学ぼうとする意欲と高校段階での学び(とくに地域社会への関心、主体的な活動体験、他者との協働体験等)に関わって、主体性と協働性について評価します。(配点の割合は、学力試験75%、個人面接25%)
総合型 選抜Ⅰ	へるん一般型	
	地域志向 入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。さらに「面接」においては、本学部で学ぼうとする意欲と高校段階での学び(とくに主体的な活動体験、他者との協働体験等)に関わって、主体性と協働性を評価します。また、「地域志向レポート」に基づいて「地域志向面接」を行い、地域への興味・関心を評価します。
	へるん 特定型	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。さらに「面接」においては、本学部で学ぼうとする意欲と高校段階での学び(とくに主体的な活動体験、他者との協働体験等)に関わって、主体性と協働性を評価します。また、「口頭試問」により、専門学科での実績と、専門学科での学びを本学での学びに繋げることに関わる知的好奇心と探究心を評価します。

●各選抜方法における求める力（評価する力）

区分		選抜方法	知識 技能	読解力 思考力 表現力	主体性と 協働性	知的好奇心 探究心	地域への 興味・関心	専門学科に関 する能力
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○				
		教科・科目に係る個別テスト	○	◎				
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○				
		個人面接			◎	○	○	
総合型選抜Ⅰ	へるん一般型	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎		
		読解・表現力試験		◎				
		志望理由書を用いた「面接」	○		○	◎		
	へるん特定型	地域志向入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎	◎	◎		
			読解・表現力試験		◎			
			志望理由書を用いた「面接」	○		◎		
			地域志向レポートに基づいた「地域志向面接」		○		◎	
		専門高校入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎	◎	◎		
			読解・表現力試験		◎			
			志望理由書を用いた「面接」	○		◎		
		口頭試問				◎		○

《総合理工学部》

■総合理工学科

●求める学生像

総合理工学部総合理工学科では、次のような学生を受け入れます。

1. 大学での学びに必要な高等学校段階での基礎的学力を有する人
2. 自然科学とその応用分野に対する強い知的好奇心を持つとともに、文理を超えた幅広い学術・文化への興味と学修意欲を合わせ持つ人
3. 地域や世界の諸課題に興味を持ち、学んだ知識・技能を活かしてそれらに積極的に関わろうとする人
4. 他者との相互理解を大事にしながら、深い思考のもと、自分の意見や着想をわかりやすく表現しようとする人

●入学選抜の基本方針

区分		基本方針
一般選抜	前期日程	【基礎的知識と思考力を重視】 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト(筆記)により、高等学校における基礎学力や思考力を十分に備えているかを評価します。
	後期日程	【基礎的知識と思考力・表現力を重視】 大学入学共通テスト及び面接により、高等学校における基礎学力を十分に備えているか、また思考した結果を論理的に表現する力を備えているかを評価します。
総合型選抜Ⅰ	へるん一般型	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性)を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)を総合的に評価します。
	地域志向入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。さらに、「地域志向レポート」に基づいて「地域志向面接」を行い、地域課題への興味・関心を評価します。
	専門高校入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。さらに、「口頭試問」により専門分野に関する基本知識・熱意・適性を、「専門学科における資格取得」等により、専門学科での実績を評価します。
	グローバル英語入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。なお、別に定める外部英語検定試験の一定の資格・スコアを有することを出願要件とし、「グローバル英語入試志望理由書」に基づいて「英語面接」を行い、英語の活用能力を評価します。
学校推薦型選抜Ⅱ		大学入学共通テスト(「数学」、「理科」、「情報」)及び面接によって、数学、理科及び情報の高等学校における基礎知識を十分に備えているか、また、将来、女性研究者や技術者等として理工系分野の発展に貢献したいという意欲及び適性について評価します。

●各選抜方法における求める力(評価する力)

区分		選抜方法	知識 技能	読解力 思考力 表現力	協調性 協働性	知的好奇心 探究心	地域への 興味・関心	専門学科に 関する能力	英語能力
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○					
		教科・科目に係る個別テスト	◎	○					
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○					
		面接		◎	○	○			
総合型選抜Ⅰ	へるん一般型	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎			
		読解・表現力試験		◎					
		志望理由書を用いた「面接」	◎	◎	○	◎			
	地域志向入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎			
		読解・表現力試験		◎					
		志望理由書を用いた「面接」	◎	◎	○	◎			
		地域志向レポートに基づいた「地域志向面接」					◎		
	へるん特定型	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎			
		読解・表現力試験		◎					
		志望理由書を用いた「面接」	◎	◎	○	◎			
		専門教科に関する口頭試問等						◎※	
	グローバル英語入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎			
		読解・表現力試験		◎					
		志望理由書を用いた「面接」	◎	◎	○	◎			
		グローバル英語入試志望理由書に基づいた「英語面接」							◎
		英語資格・検定試験							◎
学校推薦型選抜Ⅱ	大学入学共通テスト	◎							
	面接		◎	○	◎				
	調査書及び志望理由書	★	★	★	★				

※「へるん特定型 専門高校入試」の数理データサイエンス・IT・デジタル分野では、口頭試問に加え専門教科に関する資格を評価します。

★:参考とするもの

《材料エネルギー学部》

■材料エネルギー学科

●求める学生像

1. 高等学校段階での基礎学力を有し、新しい技術に関心があり、材料科学分野の知識・技術を実社会に役立てる意欲のある人
2. 実験やデータ解析を検証することで課題解決の糸口を考えようとする人
3. グローバルな視野をもって多様な人と協働して学ぶ意欲のある人
4. 社会の動向にアンテナを張り、新しいことに自分からチャレンジする人
5. 地域の関連産業の発展やエネルギー問題の解決に貢献したい人

●入学者選抜の基本方針

区分		基本方針
一般選抜	前期日程	【基礎的知識と論理性を重視】 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト(筆記)によって、理科や数学をはじめとする高等学校で修得すべき基礎学力や論理性を十分に備えているかを評価します。
	後期日程	【基礎的知識と論理性に加え、学習に対する意欲も重視】 大学入学共通テストによって、物理又は化学、数学及び情報の高等学校で修得すべき基礎的知識を十分に備えているかを評価します。また、面接によって、材料科学を学びたいという意欲、さらに論理的思考力についても評価します。
総合型選抜Ⅰ	へるん一般型	
	地域志向入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素(知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性)を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)を総合的に評価します。
		「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。特に、「地域志向レポート」に基づいて「地域志向面接」を行い、地域課題への貢献についての興味・関心を評価します。
		「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。さらに、「口頭試問」により理科に関する基礎知識と論理性及び専門高校における活動実績を評価します。
	グローバル英語入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。なお、別に定める外部英語検定試験の一定の資格・スコアを有することを出願要件とし、「グローバル英語入試志望理由書」に基づいて「英語面接」を行い、英語の活用能力を評価します。
学校推薦型選抜Ⅱ		大学入学共通テストによって理科、数学及び情報の高等学校段階で習得すべき基礎知識を十分に備えているかを評価します。また、面接によって、将来、女性研究者や技術者等として理工系分野の発展に貢献したいという意欲及び適性について評価します。

●各選抜方法における求める力（評価する力）

区分		選抜方法	知識 技能	読解力 思考力 表現力	主体性 協働性	知的好奇心 探究心	地域への 興味・関心	専門学科に 関する能力	英語能力	
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○						
	後期日程	教科・科目に係る個別テスト	◎	○						
		大学入学共通テスト 面接	◎	○		◎				
総合型選抜Ⅰ	へるん一般型	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎				
		読解・表現力試験		◎						
		志望理由書を用いた「面接」	◎	◎	○	◎				
	地域志向入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎				
		読解・表現力試験		◎						
		志望理由書を用いた「面接」	◎	◎	○	◎				
		地域志向レポートに基づいた「地域志向面接」					◎			
		専門高校入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎			
			読解・表現力試験		◎					
			志望理由書を用いた「面接」	◎	◎	○	◎			
			専門教科に関する口頭試問						◎	
		グローバル英語入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎			
	読解・表現力試験			◎						
	志望理由書を用いた「面接」		◎	◎	○	◎				
	グローバル英語入試志望理由書に基づいた「英語面接」								◎	
学校推薦型選抜Ⅱ	英語資格・検定試験								◎	
	大学入学共通テスト	◎								
	面接		◎	○	◎					
		調査書及び志望理由書	★	★	★	★				

★：参考とするもの

《生物資源科学部》

■生命科学科

●求める学生像

生命科学科では、生命が織りなすさまざまな現象について、分子、細胞、組織、個体、生物集団など多様な階層での理解を深め、そのメカニズムを探究し、生命解析の高度な技術を修得することにより、生命科学分野における新たな概念の創出や正確な知識の普及、あるいは生物資源の利活用の開発に意欲がある、次のような人を求めます。

1. 高等学校卒業段階の基礎的な学力を十分に身につけている人
2. 自ら学ぼうという学習意欲、論理的な思考とそれを表現する能力を高めていく意欲のある人
3. 生命現象への探究心や科学的好奇心に富んだ人
4. 修得した生物学や化学に関する知識・経験ならびに科学的な考え方を活かし、他者と協働して、将来、教育、産業、公共等の分野で活躍し、社会に貢献する意欲のある人

●入学者選抜の基本方針

区分		基本方針
一般選抜	前期日程	【基礎的知識と思考力を重視】 大学入学共通テストと、教科・科目に係る個別テスト(「理科」「英語」から1教科1科目)を課し、各教科の基礎的な知識を幅広く習得しているか、習得した知識を活用して問題を解くための思考力を身につけているかを評価し、選抜を行います。
	後期日程	【基礎的知識と思考力・意欲を重視】 大学入学共通テストでは、高等学校における各教科の基礎的な知識を幅広く習得しているか、習得した知識を活用して問題を解くための思考力を身につけているかを評価します。「面接」では、科学的思考力・生命科学の基礎的な知識と強い探究心について評価します。また、学習・研究に対する熱意と意欲を持つかどうか、主体性を持って学ぶ態度を備えているかどうかを評価します。
総合型選抜Ⅰ	へるん一般型	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。
	へるん特定型 地域志向入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。さらに、「地域志向レポート」に基づいて「地域志向面接」を行い、地域への興味・関心を評価します。
	グローバル英語入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。なお、別に定める外部英語検定試験の一定の資格・スコアを有することを出願要件とし、「グローバル英語入試志望理由書」に基づいて「英語面接」を行い、英語の活用能力を評価します。

●各選抜方法における求める力（評価する力）

区分		選抜方法	知識・技能	読解力 思考力 判断力 表現力	熱意 意欲 主体性
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○	
		教科・科目に係る個別テスト	◎	○	
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○	
		面接	○	○	◎

区分		選抜方法	知識・技能	読解力 思考力 判断力 表現力	主体性 協働性	知的好奇心 探究心	特定型入試で 評価する力
総合型選抜Ⅰ	へるん一般型	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎	
		読解・表現力試験		◎			
		志望理由書を用いた「面接」	○	○		◎	
	へるん特定型	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎	
		読解・表現力試験		◎			
		志望理由書を用いた「面接」	○	○		◎	
		地域志向レポートに基づいた「地域志向面接」					地域への 興味・関心 ◎
		「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎	
		読解・表現力試験		◎			
		志望理由書を用いた「面接」	○	○		◎	
		グローバル英語入試志望理由書に基づいた「英語面接」					英語能力 ◎
		英語資格・検定試験					英語能力 ◎

《生物資源科学部》

■農林生産学科

●求める学生像

農林生産学科では、自然、生物、食に興味があり、農林水産業の現状と課題・技術・研究・普及に関する知識と技能を深めようとし、農林水産業の将来像を探究し、その実践のために必要となる専門知識や技術を学ぶ意欲のある、次のような人を求めます。

1. 高等学校卒業段階の基礎的な学力を十分に身につけている人
2. 自ら学ぶ姿勢を持ち、他者と協力して学べる誠実な人
3. 山陰地域の農林水産業が抱える課題とその解決に強い関心を持っている人
4. 国内外の農林水産業の発展に貢献しようとする強い意欲を持っている人

●入学選抜の基本方針

区分			基本方針
一般選抜	前期日程		【基礎的な知識と思考力を重視】 大学入学共通テストと、教科・科目に係る個別テスト(「数学」、「理科」、「英語」から1教科1科目)を課し、各教科の基礎的な知識を幅広く習得し、問題を解くための文章読解力・表現力を身につけているかを評価し、選抜を行います。
	後期日程		【基礎的な知識と思考力・意欲を重視】 大学入学共通テストでは、高等学校における各教科の基礎的な知識を幅広く習得しているか、習得した知識を活用して問題を解くための思考力を身につけているかを評価します。「面接」では、科学的思考力・農林生産学の基礎的な知識と強い探究心について評価します。また、学習・研究に対する熱意と意欲を持つかどうか、主体性を持って学ぶ態度を備えているかどうかを評価します。
総合型選抜Ⅰ	へるん一般型		「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的な好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。
	へるん特定型	地域志向入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的な好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。さらに、「地域志向レポート」に基づいて「地域志向面接」を行い、地域への興味・関心を評価します。
		専門高校入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的な好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。さらに、「専門教科の成績」や「専門学科における資格取得」等により、専門学科での実績を評価します。
		グローバル英語入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的な好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。なお、別に定める外部英語検定試験の一定の資格・スコアを有することを出願要件とし、「グローバル英語入試志望理由書」に基づいて「英語面接」を行い、英語の活用能力を評価します。

●各選抜方法における求める力（評価する力）

区分		選抜方法	知識・技能	読解力 思考力 判断力 表現力	熱意 意欲 主体性
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○	
		教科・科目に係る個別テスト	◎	○	
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○	
		面接	○	○	◎

区分			選抜方法	知識・技能	読解力 思考力 判断力 表現力	主体性 協働性	知的な好奇心 探究心	特定型入試で 評価する力
総合型選抜Ⅰ	へるん一般型		「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎	
			読解・表現力試験		◎			
			志望理由書を用いた「面接」	○	○		◎	
	へるん特定型	地域志向入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎	
			読解・表現力試験		◎			
			志望理由書を用いた「面接」	○	○		◎	
			地域志向レポートに基づいた「地域志向面接」					地域への 興味・関心 ◎
		専門高校入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎	
			読解・表現力試験		◎			
			志望理由書を用いた「面接」	○	○		◎	
		グローバル英語入試	専門教科に関する成績や資格					専門学科に 関する能力 ◎
			「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎	
			読解・表現力試験		◎			
			志望理由書を用いた「面接」	○	○		◎	
			グローバル英語入試志望理由書に基づいた「英語面接」					英語能力 ◎
			英語資格・検定試験					英語能力 ◎

《生物資源科学部》

■環境共生科学科

●求める学生像

環境共生科学科では、資源と環境を適切に保全・管理しながら持続的に利用する環境調和型社会の創造に関心を持ち、その実践のために必要となる専門知識や技術を学ぶ意欲のある、次のような人を求めます。

1. 高等学校卒業段階の基礎的な学力を十分に身につけている人
2. 論理的に思考し、客観的な事実から未知の課題や問題に対する判断を行って、その結果を的確に表現する、一連の能力を高めようとする人
3. 旺盛な学習意欲と明確な目的意識を持ち、主体性をもって多様な人々と協働して専門知識や技術を学ぶ態度を身につけている人
4. 山陰地域が有する豊かな資源と環境を保全・管理するために必要な専門知識や技術を学び、将来、地域に貢献したいと考えている人

●入学者選抜の基本方針

区分		基本方針
一般選抜	前期日程	【基礎的知識と思考力を重視】 大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テスト(「数学」、「理科」、「英語」から1教科1科目)を課し、各教科の基礎的な知識を幅広く習得しているか、習得した知識を活用して問題を解くための思考力を身につけているかを評価し、選抜を行います。
	後期日程	【基礎的知識と目的意識を重視】 大学入学共通テストによって、基礎的な知識を幅広く習得しているか、習得した知識を活用して問題を解くための思考力を身につけているかを評価します。「面接」では、環境調和型社会の創造について学ぶうえで必要な基礎知識・論理的思考力・理解力について評価します。また、学習・研究に対する熱意と意欲を持つかどうか、主体性を持って学ぶ態度を備えているかどうかを評価します。
総合型選抜Ⅰ	へるん一般型	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的 好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。
	へるん 特定型	地域志向 入試 「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的 好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。さらに、「地域志向レポート」に基づいて「地域志向面接」 を行い、地域への興味・関心を評価します。
		専門高校 入試 「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的 好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。さらに、「専門教科の成績」や「専門学科における資格取得」 等により、専門学科での実績を評価します。
	グローバル 英語入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、「読解・表現力試験」、「志望理由書」を用いた「面接」により、知的 好奇心・探究心を重視し、学力の3要素を総合的に評価します。なお、別に定める外部英語検定試験の一定の資格・スコ アを有することを出願要件とし、「グローバル英語入試志望理由書」に基づいて「英語面接」を行い、英語の活用能力を評 価します。

●各選抜方法における求める力（評価する力）

区分		選抜方法	知識・技能	読解力 思考力 判断力 表現力	熱意 意欲 主体性
一般選抜	前期日程	大学入学共通テスト	◎	○	
		教科・科目に係る個別テスト	◎	○	
	後期日程	大学入学共通テスト	◎	○	
		面接	○	○	◎

区分		選抜方法	知識・技能	読解力 思考力 判断力 表現力	主体性 協働性	知的 好奇心 探究心	特定型入試で 評価する力
総合型選抜Ⅰ	へるん一般型	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎	
		読解・表現力試験		◎			
		志望理由書を用いた「面接」	○	○		◎	
	地域志向 入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎	
		読解・表現力試験		◎			
		志望理由書を用いた「面接」	○	○		◎	
		地域志向レポートに基づいた「地域志向面接」					地域への 興味・関心 ◎
	へるん 特定型 専門高校 入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎	
		読解・表現力試験		◎			
		志望理由書を用いた「面接」	○	○		◎	
		専門教科に関する成績や資格					専門学科に 関する能力 ◎
	グローバル 英語入試	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	◎		◎	◎	
		読解・表現力試験		◎			
		志望理由書を用いた面接	○	○		◎	
		グローバル英語入試志望理由書に基づいた「英語面接」					英語能力 ◎
		英語資格・検定試験					英語能力 ◎

法文学部【へるん一般型】

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
法 経 学 科	2 3 名
社 会 文 化 学 科	1 3 名
言 語 文 化 学 科	1 4 名

2 出願要件

学 科	出 願 要 件
全 学 科	次の各号のいずれかに該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 9 年 3 月卒業見込みの者 2 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 9 年 3 月修了見込みの者 3 学校教育法施行規則第 150 条の規定により、「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者」及び令和 9 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者 [上記 3 に該当する者] ア 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 ウ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 エ 文部科学大臣が指定した者 オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）に基づく大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和 9 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、令和 9 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの カ 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和 4 年文部科学省令第 18 号）による高等学校卒業程度認定審査に合格したもの及び令和 9 年 3 月 31 日まで合格見込みのもの キ 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 9 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの ※出願要件 3 の「ク」により出願を希望する者は、事前に入学資格審査が必要です。申請に関する詳細を教育・学生支援部入試課に問い合わせてください。 （申請期間：令和 8 年 8 月 24 日～8 月 26 日）

3 入試方法、入試日程及び配点

(1) 入試方法

学科	入 試 方 法	
全学科	第1次選考	第1次選考は、志願者数が募集人員の概ね3倍を超えた場合に実施することがあります。実施しない場合は、志願者全員を第1次選考合格者とします。 実施の有無については、令和8年10月27日（火）に本学ホームページ上（https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/）に掲載します。 （第1次選考を実施する場合） ① 出願書類「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」により選考を行います。 ② 第1次選考の結果は、令和8年10月27日（火）に以下のとおり通知します。電話、メール等での可否に関する問い合わせには応じません。 A 第1次選考合格者には、「受験票ダウンロード通知」及び「第2次選考に関する通知」を出願時に登録したメールアドレスへ送信します。 B 第1次選考不合格者には、第1次選考結果と併せて、検定料返還手続書類を郵送します。 （第1次選考を実施しない場合） ① 志願者全員に「受験票ダウンロード通知」及び「第2次選考に関する通知」を出願時に登録したメールアドレスへ送信します。
	第2次選考	第1次選考合格者に対し、読解・表現力試験、志望理由書を用いた「面接」を課し、この得点と「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」の評価を総合して選考します。
	読解・表現力試験	すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。
	志望理由書を用いた「面接」	各志願者に対して数名の面接委員で、15分程度行います。

(2) 入試日程

学 科	期 日	事 項	時 間
全 学 科	令和8年11月14日（土）	受 付	8:20 ～ 8:40
		読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
		「面接」	10:30 ～ 18:00
	令和8年11月15日（日）	受 付	8:20 ～ 8:40
		「面接」	9:00 ～ 18:00

※志願者数により11月14日（土）のみ実施となる可能性があります。

※「面接」は、志願者数によって終了時刻を変更することがあります。

※試験当日、「面接」の試験時間内において、控室で待機している時間が長くなる場合があります。自習などができる準備をしておいてください。

(3) 配点

学 科	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	読解・表現力試験	志望理由書を用いた「面接」	配点合計
全 学 科	80	100	100	280

4 採点・評価基準

学 科	項 目	採 点 ・ 評 価 基 準
全 学 科	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
	活動報告書	志願者が記述するもので、学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
	クローズアップシート	志願者が記述するもので、高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて、その活動にどう取り組んだのか、その振り返り等を評価します。
	読解・表現力試験	読み取った内容を理解し、それを記述する力があるかを評価します。
	志望理由書を用いた「面接」	志望理由書を用いて面接し、「なぜ大学で学びたいのか、何を学びたいのか」、知的好奇心・探究心などを評価します。

5 合否判定基準

学 科	合 否 判 定 基 準
全 学 科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、志望理由書を用いた「面接」の得点が高い者を上位とします。

法文学部【へるん特定型】地域志向入試（島根県・鳥取県枠）

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
法 経 学 科	6 名
社 会 文 化 学 科	
言 語 文 化 学 科	

2 出願要件

学 科	出 願 要 件
全 学 科	次の1及び2の各号に該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 次の①から②のいずれかに該当する者 ① 島根県内又は鳥取県内の高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 ② 島根県内又は鳥取県内の高等専門学校で第3年次を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者 2 地域に貢献しようとする強い意志を有する者

へるん特定型の地域志向入試を第1志望、へるん一般型を第2志望として併願することができます。
この場合、併願は同一の学部学科に限ります。

3 入試方法、入試日程及び配点

(1) 入試方法

学 科	入 試 方 法
全 学 科	読解・表現力試験、志望理由書を用いた「面接」、地域志向レポートに基づく「地域志向面接」を課し、この得点と「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」の評価を総合して選考します。
	読解・表現力試験 すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。
	志望理由書を用いた「面接」 各志願者に対して数名の面接委員で、15分程度行います。
	地域志向レポートに基づく「地域志向面接」 各志願者に対して数名の面接委員で、10分程度行います。

(2) 入試日程

学 科	期 日	事 項	時 間
全 学 科	令和8年11月14日（土）	受 付	8:20 ～ 8:40
		読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
		「面接」及び「地域志向面接」	10:30 ～ 18:00
	令和8年11月15日（日）	受 付	8:20 ～ 8:40
		「面接」及び「地域志向面接」	9:00 ～ 18:00

※志願者数により11月14日（土）のみ実施となる可能性があります。

※「面接」及び「地域志向面接」は、志願者数によって終了時刻を変更することがあります。

※試験当日、「面接」及び「地域志向面接」の試験時間内において、控室で待機している時間が長くなる場合があります。自習などができる準備をしておいてください。

(3) 配点

学 科	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	読解・表現力試験	志望理由書を用いた「面接」	地域志向レポートに基づく「地域志向面接」	配点合計
全 学 科	80	100	100	50	330

4 採点・評価基準

学 科	項 目	採 点 ・ 評 価 基 準
全 学 科	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
	活動報告書	志願者が記述するもので、学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
	クローズアップシート	志願者が記述するもので、高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて、その活動にどう取り組んだのか、その振り返り等を評価します。
	読解・表現力試験	読み取った内容を理解し、それを記述する力があるかを評価します。
	志望理由書を用いた「面接」	志望理由書を用いて面接し、「なぜ大学で学びたいのか、何を学びたいのか」、知的好奇心・探究心などを評価します。
	地域志向レポートに基づく「地域志向面接」	地域志向レポートに基づいて面接し、興味関心、地域貢献への意欲などを評価します。

5 合否判定基準

学 科	合 否 判 定 基 準
全 学 科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、地域志向レポートに基づく「地域志向面接」の得点の高い者を上位とします。
へるん特定型の地域志向入試を第1志望、へるん一般型を第2志望として併願した人は、第1志望が合格にならなかった場合、へるん一般型の選抜対象になります。その際、地域志向レポートに基づく「地域志向面接」の得点は加えないこととなります。	

法文学部【へるん特定型】地域志向入試（全国枠）

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
法 経 学 科	6 名
社 会 文 化 学 科	
言 語 文 化 学 科	

2 出願要件

学 科	出 願 要 件
全 学 科	次の1及び2の各号に該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 ※へるん特定型地域志向入試（島根県・鳥取県枠）の出願要件を満たすものは、へるん特定型地域志向入試（全国枠）への出願はできません。 1 次の①から③のいずれかに該当する者 ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者」及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者 2 地域に貢献しようとする強い意志を有する者 [上記1の③に該当する者] ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 エ 文部科学大臣の指定した者 オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）に基づく大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和9年3月31日までに合格見込みの者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの カ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格したもの及び令和9年3月31日までに合格見込みのもの キ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの ※出願要件1の③の「ク」により出願を希望する者は、事前に入学資格審査が必要です。 申請に関する詳細を教育・学生支援部入試課に問い合わせてください。 （申請期間：令和8年8月24日～8月26日）

へるん特定型の地域志向入試を第1志望、へるん一般型を第2志望として併願することができます。
 この場合、併願は同一の学部学科に限ります。

3 入試方法、入試日程及び配点

(1) 入試方法

学 科	入 試 方 法
全 学 科	読解・表現力試験、志望理由書を用いた「面接」、地域志向レポートに基づく「地域志向面接」を課し、この得点と「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」の評価を総合して選考します。
	読解・表現力試験 すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。
	志望理由書を用いた「面接」 各志願者に対して数名の面接委員で、15分程度行います。

全 学 科	地域志向レポートに基づく「地域志向面接」	各志願者に対して数名の面接委員で、10分程度行います。
-------	----------------------	-----------------------------

(2) 入試日程

学 科	期 日	事 項	時 間
全 学 科	令和8年11月14日(土)	受 付	8:20 ～ 8:40
		読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
		「面接」及び「地域志向面接」	10:30 ～ 18:00
	令和8年11月15日(日)	受 付	8:20 ～ 8:40
		「面接」及び「地域志向面接」	9:00 ～ 18:00

※志願者数により11月14日(土)のみ実施となる可能性があります。

※「面接」及び「地域志向面接」は、志願者数によって終了時刻を変更することがあります。

※試験当日、「面接」及び「地域志向面接」の試験時間内において、控室で待機している時間が長くなる場合があります。自習などができる準備をしておいてください。

(3) 配点

学 科	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	読解・表現力試験	志望理由書を用いた「面接」	地域志向レポートに基づく「地域志向面接」	配点合計
全 学 科	80	100	100	50	330

4 採点・評価基準

学 科	項 目	採 点 ・ 評 価 基 準
全 学 科	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
	活動報告書	志願者が記述するもので、学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
	クローズアップシート	志願者が記述するもので、高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて、その活動にどう取り組んだのか、その振り返り等を評価します。
	読解・表現力試験	読み取った内容を理解し、それを記述する力があるかを評価します。
	志望理由書を用いた「面接」	志望理由書を用いて面接し、「なぜ大学で学びたいのか、何を学びたいのか」、知的好奇心・探究心などを評価します。
	地域志向レポートに基づく「地域志向面接」	地域志向レポートに基づいて面接し、興味関心、地域貢献への意欲などを評価します。

5 合否判定基準

学 科	合 否 判 定 基 準
全 学 科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、地域志向レポートに基づく「地域志向面接」の得点の高い者を上位とします。
	へるん特定型の地域志向入試を第1志望、へるん一般型を第2志望として併願した人は、第1志望が合格にならなかった場合、へるん一般型の選抜対象になります。その際、地域志向レポートに基づく「地域志向面接」の得点は加えないこととなります。

法文学部【へるん特定型】専門高校入試

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
法 経 学 科	2 名
社 会 文 化 学 科	
言 語 文 化 学 科	

2 出願要件

学 科	出 願 要 件
全 学 科	次の1に該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 高等学校又は中等教育学校の専門教育に関する学科又は総合学科(※)を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 (※総合学科：卒業に必要な単位のうち、専門教科・科目(「産業社会と人間」を含む)について、20単位以上の修得(見込み)の者) 備考 出願要件に掲げる学科に該当するかどうか不明な場合は、事前に松江地区学部等事務部学務課法文学部入試担当まで照会してください。 (〒690-8504 松江西市川津町 1060 TEL：(0852)32-6032)

へるん特定型の専門高校入試を第1志望、へるん一般型を第2志望として併願することができます。
この場合、併願は同一の学部学科に限ります。

3 入試方法、入試日程及び配点

(1) 入試方法

学 科	入 試 方 法	
全 学 科	読解・表現力試験、志望理由書を用いた「面接」を課し、この得点と「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、専門教科の評定の評価を総合して選考します。	
	読解・表現力試験	すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。
	志望理由書を用いた「面接」	各志願者に対して数名の面接委員で、15分程度行います。

(2) 入試日程

学 科	期 日	事 項	時 間
全 学 科	令和8年11月14日(土)	受 付	8:20 ～ 8:40
		読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
		「面接」	10:30 ～ 18:00
	令和8年11月15日(日)	受 付	8:20 ～ 8:40
		「面接」	9:00 ～ 18:00

※志願者数により11月14日(土)のみ実施となる可能性があります。

※「面接」は、志願者数によって終了時刻を変更することがあります。

※試験当日、「面接」の試験時間内において、控室で待機している時間が長くなる場合があります。自習などができる準備をしておいてください。

(3) 配点

学 科	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	読解・表現力試験	志望理由書を用いた「面接」	専門教科の評定	配点合計
全 学 科	80	100	100	10	290

4 採点・評価基準

学 科	項 目	採 点 ・ 評 価 基 準
全 学 科	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
	活動報告書	志願者が記述するもので、学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
	クローズアップシート	志願者が記述するもので、高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて、その活動にどう取り組んだのか、その振り返り等を評価します。
	読解・表現力試験	読み取った内容を理解し、それを記述する力があるかを評価します。
	志望理由書を用いた「面接」	志望理由書を用いて面接し、「なぜ大学で学びたいのか、何を学びたいのか」、知的好奇心・探究心などを評価します。
	専門教科の評定	専門教科の評定について評価します。

5 合否判定基準

学 科	合 否 判 定 基 準
全 学 科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、志望理由書を用いた「面接」の得点の高い者を上位とします。
へるん特定型の専門高校入試を第1志望、へるん一般型を第2志望として併願した人は、第1志望が合格にならなかった場合、へるん一般型の選抜対象になります。その際、専門教科の評定の得点は加えないこととなります。	

法文学部【へるん特定型】グローバル英語入試

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
法 経 学 科	6 名
社 会 文 化 学 科	
言 語 文 化 学 科	

2 出願要件

学 科	出 願 要 件
全学科	次の1及び2の各号に該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 次の①から③のいずれかに該当する者 ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者」及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者 2 2024年4月以降に実用英語技能検定((従来型の)英検, 英検 CBT, 英検 S-CBT, 英検 S-Interview のいずれも可)を受験し2級以上を取得した者, または2024年4月以降にGTEC(検定版(Basic, Advanced), CBTタイプのいずれも可)を受験し930点以上を得点した者 [上記1の③に該当する者] ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 ウ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 エ 文部科学大臣の指定した者 オ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により, 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)に基づく大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び令和9年3月31日までに合格見込みの者で, 令和9年3月31日までに18歳に達するもの カ 学校教育法(昭和22年法律第26号)第90条第2項の規定により大学に入学した者であって, 高等学校卒業程度認定審査規則(令和4年文部科学省令第18号)による高等学校卒業程度認定審査に合格したもの及び令和9年3月31日までに合格見込みのもの キ 学校教育法(昭和22年法律第26号)第90条第2項の規定により大学に入学した者であって, 本学において大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの ク 本学において, 個別の入学資格審査により, 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で, 令和9年3月31日までに18歳に達するもの ※出願要件1の③の「ク」により出願を希望する者は, 事前に入学資格審査が必要です, 申請に関する詳細を教育・学生支援部入試課に問い合わせてください。 (申請期間: 令和8年8月24日~8月26日)

へるん特定型のグローバル英語入試を第1志望, へるん一般型を第2志望として併願することができます。この場合, 併願は同一の学部学科に限ります。

3 入試方法、入試日程及び配点

(1) 入試方法

学 科	入 試 方 法	
全 学 科	読解・表現力試験，志望理由書を用いた「面接」，グローバル英語入試志望理由書に基づく「英語面接」を課し，この得点と「調査書」，「活動報告書」及び「クローズアップシート」，英語資格・検定試験の評価を総合して選考します。	
	読解・表現力試験	すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。
	志望理由書を用いた「面接」	各志願者に対して数名の面接委員で，15分程度行います。
	グローバル英語入試志望理由書に基づく「英語面接」	英語による面接を，各志願者に対して数名の面接委員で，10分程度行います。

(2) 入試日程

学 科	期 日	事 項	時 間
全 学 科	令和8年11月14日（土）	受 付	8:20 ～ 8:40
		読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
		「面接」及び「英語面接」	10:30 ～ 18:00
	令和8年11月15日（日）	受 付	8:20 ～ 8:40
		「面接」及び「英語面接」	9:00 ～ 18:00

※志願者数により11月14日（土）のみ実施となる可能性があります。

※「面接」及び「英語面接」は，志願者数によって終了時刻を変更することがあります。

※試験当日，「面接」及び「英語面接」の試験時間内において，控室で待機している時間が長くなる場合があります。自習などができる準備をしておいてください。

(3) 配点

学 科	「調査書」，「活動報告書」及び「クローズアップシート」	読解・表現力試験	志望理由書を用いた「面接」	英語資格・検定試験	グローバル英語入試志望理由書に基づく「英語面接」	配点合計
全 学 科	80	100	100	30	20	330

4 採点・評価基準

学 科	項 目	採 点 ・ 評 価 基 準
全 学 科	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
	活動報告書	志願者が記述するもので，学校内外の活動を通して他者と協働した経験の評価します。
	クローズアップシート	志願者が記述するもので，高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて，その活動にどう取り組んだのか，その振り返り等を評価します。
	読解・表現力試験	読み取った内容を理解し，それを記述する力があるかを評価します。
	志望理由書を用いた「面接」	志望理由書を用いて面接し，「なぜ大学で学びたいのか，何を学びたいのか」，知的好奇心・探究心などを評価します。
	英語資格・検定試験	英検準1級以上，またはGTEC 1180点以上（30点） 英検2級，またはGTEC 930点以上（15点） （加点対象にできるのは「実用英語技能検定」または「GTEC」のいずれか一つです。）
	グローバル英語入試志望理由書に基づく「英語面接」	グローバル英語入試志望理由書に基づいて，「英語面接」を行い，英語力及び英語力を活用し挑戦してみたいことなどについて評価します。

5 合否判定基準

学 科	合 否 判 定 基 準
全 学 科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、グローバル英語入試志望理由書に基づく「英語面接」の得点の高い者を上位とします。
へるん特定型のグローバル英語入試を第1志望，へるん一般型を第2志望として併願した人は，第1志望が合格にならなかった場合，へるん一般型の選抜対象になります。その際，グローバル英語入試志望理由書に基づく「英語面接」，英語資格・検定試験の得点は加えないこととなります。	

教育学部【へるん一般型】

1 募集人員

課程・専攻		募集人員
学校教育課程Ⅰ類	小学校教育専攻	22名
	特別支援教育専攻	
	国語科教育専攻	
	英語科教育専攻	
	社会科教育専攻	
	数学科教育専攻	
	理科教育専攻	

2 出願要件

課程・専攻	出 願 要 件
学校教育課程Ⅰ類	次の各号のいずれかに該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者 3 学校教育法施行規則第150条の規定により、「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者」及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者 [上記3に該当する者] ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 エ 文部科学大臣が指定した者 オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）に基づく大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和9年3月31日までに合格見込みの者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの カ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格したもの及び令和9年3月31日までに合格見込みのもの キ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの ※出願要件3の「ク」により出願を希望する者は、事前に入学資格審査が必要です。申請に関する詳細を教育・学生支援部入試課に問い合わせてください。 （申請期間：令和8年8月24日～8月26日）

※特記

こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）の施行により、令和8年12月25日より、こどもに対して教育・保育などを行う事業者には性暴力を防ぐための取組が義務付けられます。これに伴い、合格者に対し、性犯罪前科の有無の確認を誓約書等にて行います。特定性犯罪前科が確認された場合、学校や保育所等での実習に参加することができないため、必要な単位が取得できず、教育学部を卒業できません。内容を十分にご理解いただいたうえで、出願してください。

3 入試方法、入試日程及び配点

(1) 入試方法

課程・専攻		入 試 方 法	
学校教育課程 I 類	第 1 次 選 考	第 1 次選考は、志願者数が募集人員の概ね 3 倍を超えた場合に実施することがあります。実施しない場合は、志願者全員を第 1 次選考合格者とします。 実施の有無については、令和 8 年 10 月 27 日（火）に本学ホームページ上 (https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/) に掲載します。 (第 1 次選考を実施する場合) ① 出願書類「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」により選考を行います。 ② 第 1 次選考の結果は、令和 8 年 10 月 27 日（火）に以下のとおり通知します。電話、メール等での可否に関する問い合わせには、応じません。 A 第 1 次選考合格者には、「受験票ダウンロード通知」及び「第 2 次選考に関する通知」を出願時に登録したメールアドレスへ送信します。 B 第 1 次選考不合格者には、第 1 次選考結果と併せて、検定料返還手続書類を郵送します。 (第 1 次選考を実施しない場合) ① 志願者全員に「受験票ダウンロード通知」及び「第 2 次選考に関する通知」を出願時に登録したメールアドレスへ送信します。	
		第 1 次選考合格者に対し、読解・表現力試験、志望理由書を用いた「面接」を課し、この得点と「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」の評価を総合して選考します。	
	第 2 次 選 考	読解・表現力試験	すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。
		志望理由書を用いた「面接」	各志願者に対して数名の面接委員で、15 分程度行います。

(2) 入試日程

課程・専攻	期 日	事 項	時 間
学校教育課程 I 類	令和 8 年 11 月 14 日（土）	受 付	8:20 ～ 8:40
		読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
		「面接」	10:30 ～ 18:00
	令和 8 年 11 月 15 日（日）	受 付	8:20 ～ 8:40
		「面接」	9:00 ～ 18:00

※志願者数により 11 月 14 日（土）のみ実施となる可能性があります。

※「面接」は、志願者数によって終了時刻を変更することがあります。

※試験当日、「面接」の試験時間内において、控室で待機している時間が長くなる場合があります。自習などができる準備をしておいてください。

(3) 配点

課程・専攻	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	読解・表現力試験	志望理由書を用いた「面接」	配点合計
学校教育課程 I 類	80	100	100	280

4 採点・評価基準

課程・専攻	項 目	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育課程 I 類	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
	活動報告書	志願者が記述するもので、学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
	クローズアップシート	志願者が記述するもので、高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて、その活動にどう取り組んだのか、その振り返り等を評価します。
	読解・表現力試験	読み取った内容を理解し、それを記述する力があるかを評価します。
	志望理由書を用いた「面接」	志望理由書を用いて面接し、「なぜ大学で学びたいのか、何を学びたいのか」、知的好奇心・探究心、教職への意欲や適性などについて評価します。

5 合否判定基準

課程・専攻	合 否 判 定 基 準
学校教育課程 I 類	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、志望理由書を用いた「面接」の得点が高い者を上位とします。

教育学部【へるん特定型】地域志向入試（島根県・鳥取県枠）

1 募集人員

課程・専攻		募集人員
学校教育課程Ⅰ類	小学校教育専攻	地域教員育成型 20名 (島根県枠 10名 鳥取県枠 10名)
	特別支援教育専攻	
	国語科教育専攻	
	英語科教育専攻	
	社会科教育専攻	
	数学科教育専攻	
	理科教育専攻	

2 出願要件

課程・専攻	出 願 要 件
学校教育課程Ⅰ類	次の1及び2の各号に該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 次の①から②のいずれかに該当する者 ① 島根県内又は鳥取県内の高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 ② 島根県内又は鳥取県内の高等専門学校で第3年次を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者 2 島根県又は鳥取県の教員として活躍し、地域社会に貢献しようとする強い意志を有する者

- へるん特定型の地域志向入試（地域教員育成型）の出願要件に該当する者は、教育学部へるん入試一般型又は地域志向入試（地域教員育成型）どちらの区分でも出願できます。
- へるん特定型の地域志向入試（地域教員育成型）に出願した者の選考は、地域志向入試（地域教員育成型）を優先して行い、地域志向入試（地域教員育成型）において合格とならなかった場合は、教育学部へるん入試一般型の選考の対象とします。その際、へるん入試一般型における第1次選考は合格したものとして取り扱います。

※特記

こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）の施行により、令和8年12月25日より、こどもに対して教育・保育などを行う事業者には性暴力を防ぐための取組が義務付けられます。これに伴い、合格者に対し、性犯罪前科の有無の確認を誓約書等にて行います。特定性犯罪前科が確認された場合、学校や保育所等での実習に参加することができないため、必要な単位が取得できず、教育学部を卒業できません。内容を十分にご理解いただいたうえで、出願してください。

3 入試方法、入試日程及び配点

(1) 入試方法

課程・専攻	入 試 方 法	
学校教育課程Ⅰ類	読解・表現力試験，志望理由書を用いた「面接」を課し，この得点と「調査書」，「活動報告書」，「クローズアップシート」，及び「教職への学びレポート」の評価を総合して選考します。	
	読解・表現力試験	すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。
	志望理由書を用いた「面接」	各志願者に対して数名の面接委員で，15分程度行います。

(2) 入試日程

課程・専攻	期 日	事 項	時 間
学校教育課程 I 類	令和 8 年 11 月 14 日（土）	受 付	8:20 ～ 8:40
		読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
		「面接」	10:30 ～ 18:00
	令和 8 年 11 月 15 日（日）	受 付	8:20 ～ 8:40
		「面接」	9:00 ～ 18:00

※志願者数により 11 月 14 日（土）のみ実施となる可能性があります。

※「面接」は、志願者数によって終了時刻を変更することがあります。

※試験当日、「面接」の試験時間内において、控室で待機している時間が長くなる場合があります。自習などができる準備をしておいてください。

(3) 配点

課程・専攻	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	読解・表現力試験	志望理由書を用いた「面接」	教職への学びレポート	配点合計
学校教育課程 I 類	80	100	100	50	330

4 採点・評価基準

課程・専攻	項 目	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育課程 I 類	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
	活動報告書	志願者が記述するもので、学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
	クローズアップシート	志願者が記述するもので、高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて、その活動にどう取り組んだのか、その振り返り等を評価します。
	読解・表現力試験	読み取った内容を理解し、それを記述する力があるかを評価します。
	志望理由書を用いた「面接」	志望理由書を用いて面接し、「なぜ大学で学びたいのか、何を学びたいのか」、知的好奇心・探究心、教職への意欲や適性などについて評価します。
	教職への学びレポート	地域教員としての活躍を志向した、学びの経験と構想について評価します。

5 合否判定基準

課程・専攻	合 否 判 定 基 準
学校教育課程 I 類	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、志望理由書を用いた「面接」の得点の高い者を上位とします。
地域志向入試（地域教員育成型）において合格とならなかった場合は、教育学部へるん入試一般型の選考の対象とします。その際、「教職への学びレポート」の得点は加えないこととなります。	

教育学部【へるん特定型】芸術・スポーツ入試

1 募集人員

課程・専攻		募集人員
学校教育課程Ⅱ類	保健体育科教育専攻	3名
	音楽科教育専攻	5名
	美術科教育専攻	2名

2 出願要件

課程・専攻	出 願 要 件
学校教育課程Ⅱ類 保健体育科教育専攻	次の1から3の各号に該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 次の①から③のいずれかに該当する者 ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者」及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者 2 健康問題やスポーツ活動に強い関心があり、将来教員になろうとする強い意志を持つ者 3 次に示す競技種目において都道府県大会ベスト4以上の成績を、高等学校入学以降又はそれに相当する期間に残した者（但し、ここでの都道府県大会とは全国大会につながる位置付けのものとする） ・体操競技 ・陸上競技 ・水泳 ・球技（バスケットボール、サッカー、バレーボール、テニス、ソフトテニス、卓球、バドミントン、野球、ソフトボール） ・武道（柔道、剣道） [上記1の③に該当する者] ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 エ 文部科学大臣の指定した者 オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）に基づく大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和9年3月31日までに合格見込みの者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの カ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格したもの及び令和9年3月31日までに合格見込みのもの キ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの ※出願要件1の③の「ク」により出願を希望する者は、事前に入学資格審査が必要です。申請に関する詳細を教育・学生支援部入試課に問い合わせてください。 （申請期間：令和8年8月24日～8月26日）

学校教育課程Ⅱ類	音楽科教育専攻	次の 1 及び 2 の各号に該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 次の①から③のいずれかに該当する者 ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 9 年 3 月卒業見込みの者 ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 9 年 3 月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第 150 条の規定により、「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者」及び令和 9 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者 2 音楽に強い関心があり、将来教員になろうとする強い意志を持つ者 [上記 1 の③に該当する者] ア 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 ウ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 エ 文部科学大臣の指定した者 オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）に基づく大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和 9 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、令和 9 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの カ 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和 4 年文部科学省令第 18 号）による高等学校卒業程度認定審査に合格したもの及び令和 9 年 3 月 31 日までに合格見込みのもの キ 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 9 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの ※出願要件 1 の③の「ク」により出願を希望する者は、事前に入学資格審査が必要です。申請に関する詳細を教育・学生支援部入試課に問い合わせてください。 (申請期間：令和 8 年 8 月 24 日～8 月 26 日)
----------	---------	--

学校教育課程Ⅱ類	美術科教育専攻	次の 1 及び 2 の各号に該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 次の①から③のいずれかに該当する者 ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 9 年 3 月卒業見込みの者 ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 9 年 3 月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第 150 条の規定により、「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者」及び令和 9 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者 2 美術に強い関心があり、将来教員になろうとする強い意志を持つ者 [上記 1 の③に該当する者] ア 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 ウ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 エ 文部科学大臣の指定した者 オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）に基づく大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和 9 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、令和 9 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの カ 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和 4 年文部科学省令第 18 号）による高等学校卒業程度認定審査に合格したもの及び令和 9 年 3 月 31 日までに合格見込みのもの キ 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 9 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの ※出願要件 1 の③の「ク」により出願を希望する者は、事前に入学資格審査が必要です。申請に関する詳細を教育・学生支援部入試課に問い合わせてください。 （申請期間：令和 8 年 8 月 24 日～8 月 26 日）
----------	---------	---

※特記

こども性暴力防止法（学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律）の施行により、令和 8 年 12 月 25 日より、こどもに対して教育・保育などを行う事業者には性暴力を防ぐための取組が義務付けられます。これに伴い、合格者に対し、性犯罪前科の有無の確認を誓約書等にて行います。特定性犯罪前科が確認された場合、学校や保育所等での実習に参加することができないため、必要な単位が取得できず、教育学部を卒業できません。内容を十分にご理解いただいたうえで、出願してください。

3 入試方法、入試日程及び配点

(1) 入試方法

課程・専攻		入 試 方 法	
学校教育課程Ⅱ類	保健体育科教育専攻	読解・表現力試験，志望理由書を用いた「面接」及び実技を課し，この得点と「調査書」，「活動報告書」及び「クローズアップシート」，「スポーツ活動調書」の評価を総合して選考します。	
		読解・表現力試験	すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。
		志望理由書を用いた「面接」	各志願者に対して数名の面接委員で，15 分程度行います。
		実技	次の4つの課題について試験します。 ① マット運動 男子：（往路）倒立前転→伸膝前転→側方倒立回転→後転倒立（復路）前方倒立回転跳び 女子：（往路）倒立前転→開脚前転→側方倒立回転→伸膝後転→片足水平立ち（又はY字バランス） （復路）跳び前転 ② 時間往復走 ③ 両足連続立ち三回跳び ④ 球技（バスケットボールを用いた基礎的動作） 【実技試験留意事項】 ・屋内で行いますので，屋内用シューズを持参してください。 ・その他，試験に関する内容の詳細については，試験当日発表します。
	音楽科教育専攻	読解・表現力試験，志望理由書を用いた「面接」及び実技を課し，この得点と「調査書」，「活動報告書」及び「クローズアップシート」の評価を総合して選考します。	
		読解・表現力試験	すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。
		志望理由書を用いた「面接」	各志願者に対して数名の面接委員で，10 分程度行います。
		実技	特技試験と全員対象試験を課します。
	美術科教育専攻	読解・表現力試験，志望理由書を用いた「面接」及び実技を課し，この得点と「調査書」，「活動報告書」及び「クローズアップシート」，「美術活動調書」の評価を総合して選考します。	
		読解・表現力試験	すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。
		志望理由書を用いた「面接」	各志願者に対して数名の面接委員で，20 分程度行います。
		実技	水彩画を3時間で制作します。なお，鉛筆，消しゴム，水彩絵具（透明水彩もしくはグアッシュ），筆，筆洗，雑巾，ティッシュを各自で用意してください。画用紙・画板は本学で用意します。

(2) 入試日程

課程・専攻		期 日	事 項	時 間
学校教育課程Ⅱ類	保健体育科教育専攻	令和8年11月14日（土）	受 付	8:20 ～ 8:40
			読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
			実 技	10:30 ～ 12:30
			「面 接」	13:30 ～ 18:00
	音楽科教育専攻	令和8年11月14日（土）	受 付	8:20 ～ 8:40
			読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
			実 技	10:30 ～ 13:00
			「面 接」	14:00 ～ 18:00
	美術科教育専攻	令和8年11月14日（土）	受 付	8:20 ～ 8:40
			読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
			実 技	10:30 ～ 13:30
			「面 接」	14:30 ～ 18:00

※志願者数によって，時間を多少変更することがあります。

※試験当日，「面接」の試験時間内において，控室で待機している時間が長くなる場合があります。自習などができる準備をしておいてください。

学校教育課程Ⅱ類 音楽科教育専攻実技について

○ 特技試験 次の①～⑪の中から一つを選択してください。

①声楽	イタリア歌曲（イタリア古典歌曲を含む）の中から任意の1曲を選択し、原語により暗譜で演奏してください。 なお、各自の歌う調による伴奏用楽譜を入学願書に添えて提出してください。 伴奏者は、本学で用意します。
②ピアノ	次の作品の中から任意の1曲を選択し、第1楽章を演奏してください。繰り返しは省略して暗譜で演奏してください。 1 モーツァルト : ピアノソナタ イ短調 KV310 (300d) 2 モーツァルト : ピアノソナタ ニ長調 KV311 (284c) 3 モーツァルト : ピアノソナタ ハ長調 KV330 (300h) 4 モーツァルト : ピアノソナタ ヘ長調 KV332 (300k) 5 モーツァルト : ピアノソナタ 変ロ長調 KV333 (315c) 6 ベートーヴェン: ピアノソナタ 第5番 ハ短調 Op. 10 No. 1 7 ベートーヴェン: ピアノソナタ 第6番 ヘ長調 Op. 10 No. 2 8 ベートーヴェン: ピアノソナタ 第7番 ニ長調 Op. 10 No. 3 9 ベートーヴェン: ピアノソナタ 第11番 変ロ長調 Op. 22 10 ベートーヴェン: ピアノソナタ 第16番 ト長調 Op. 31 No. 1 11 ベートーヴェン: ピアノソナタ 第18番 変ホ長調 Op. 31 No. 3
③フルート	任意の楽曲または練習曲を演奏してください。楽譜を使用しても構いません。
④クラリネット	任意の楽曲または練習曲を演奏してください。楽譜を使用しても構いません。
⑤アルト・サクソフォーン	任意の楽曲または練習曲を演奏してください。楽譜を使用しても構いません。
⑥トランペット	任意の楽曲または練習曲を演奏してください。楽譜を使用しても構いません。
⑦ホルン	任意の楽曲または練習曲を演奏してください。楽譜を使用しても構いません。
⑧トロンボーン	任意の楽曲または練習曲を演奏してください。楽譜を使用しても構いません。
⑨ユーフォニウム	任意の楽曲または練習曲を演奏してください。楽譜を使用しても構いません。
⑩チューバ	任意の楽曲または練習曲を演奏してください。楽譜を使用しても構いません。
⑪打楽器	次の2曲を演奏してください。楽譜を使用しても構いません。 1 小太鼓: Wm. F. Ludwig: Collection Drum Solos の中から, P. 11, 「On The Ranch」(繰り返しは省略して演奏してください。) 2 マリンバ: 自由曲

○ 全員対象試験 次の課題を課します。

ピアノ	● 特技試験でピアノを選択した者 次の曲集から任意の1曲を選択し、演奏してください。反復記号のある曲は、繰り返しを省略してください。楽譜を使用しても構いません。 J. S. Bach: インヴェンションとシンフォニア (BWV 772-801) ● 特技試験でピアノを選択しなかった者 次の曲集から任意の1曲を選択し、繰り返しを省略して演奏してください。楽譜を使用しても構いません。 ピアノ曲集『ソナチネ・アルバム1』※に収められている Kuhlau, Clementi, Dussek のソナチネの第1楽章 ※ 楽譜は、音楽之友社『新訂 ソナチネ・アルバム1』, カワイ出版『ソナチネ・アルバム1』, 全音楽譜出版社『ソナチネ・アルバム(1) [標準版]』のいずれかを参照してください。
-----	---

【実技試験留意事項】

- ① 実技試験に要する楽器は、各自持参してください。ただし、ピアノ、マリンバについては、本学が準備したものを使用してください。
(マリンバのメーカー及び規格は、KOROGI UM1500FF です。)
- ② 演奏は、途中で中止させる場合があります。
- ③ 試験に関する課題及び内容の詳細については、試験当日発表し、指示します。

(3) 配点

課程・専攻		「調査書」, 「活動報告書」及び 「クローズアップ シート」	読解・表現力 試験	志望理由書を用いた 「面接」	実技	スポーツ活動 調査	実技 (特技試験)	実技 (全員対象試験)	実技・美術活動 調査	配点 合計
学校教育課程Ⅱ類	保健体育科 教育専攻	80	100	100	100	300	-	-	-	680
	音楽科 教育専攻	80	100	100	-	-	400	100	-	780
	美術科 教育専攻	80	100	100	-	-	-	-	300	580

4 採点・評価基準

課程・専攻		項目	採点・評価基準
学校教育課程Ⅱ類	保健体育科 教育専攻	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
		活動報告書	志願者が記述するもので、学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
		クローズアップシート	志願者が記述するもので、高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて、その活動にどう取り組んだのか、その振り返り等を評価します。
		読解・表現力試験	読み取った内容を理解し、それを記述する力があるかを評価します。
		志望理由書を用いた 「面接」	志望理由書を用いて面接し、「なぜ大学で学びたいのか、何を学びたいのか」、知的好奇心・探究心などを評価します。また、保健体育に関する興味・関心、学習意欲などを中心に、教職への意欲や適性などについて評価します。
		実技	保健体育における実技の学習に必要な基礎的運動能力について評価します。
		スポーツ活動調査	記載内容を点数化します。
	音楽科 教育専攻	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
		活動報告書	志願者が記述するもので、学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
		クローズアップシート	志願者が記述するもので、高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて、その活動にどう取り組んだのか、その振り返り等を評価します。
		読解・表現力試験	読み取った内容を理解し、それを記述する力があるかを評価します。
		志望理由書を用いた 「面接」	志望理由書を用いて面接し、「なぜ大学で学びたいのか、何を学びたいのか」、知的好奇心・探究心などを評価します。また、志望する音楽分野に関する興味・関心、学習意欲などを総合的に評価します。
		実技	特技試験においては、専門的な実技力を、全員対象試験では、教職に欠かせない基礎的な演奏能力を評価します。

学校教育課程Ⅱ類	美術科教育専攻	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
		活動報告書	志願者が記述するもので、学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
		クローズアップシート	志願者が記述するもので、高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて、その活動にどう取り組んだのか、その振り返り等を評価します。
		読解・表現力試験	読み取った内容を理解し、それを記述する力があるかを評価します。
		志望理由書を用いた「面接」	志望理由書を用いて面接し、「なぜ大学で学びたいのか、何を学びたいのか」、知的好奇心・探究心などを評価します。また、美術に関する興味・関心、基礎的内容の理解等を中心に、教職への意欲や適性について評価します。
		実技・美術活動調書	水彩画の制作をとおして、描写力、構成力、色彩感覚等を試験し、「美術活動調書」の内容と総合して評価します。

5 合否判定基準

課程・専攻		合 否 判 定 基 準
学校教育課程Ⅱ類	保健体育科教育専攻	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、読解・表現力試験、面接及び実技の合計得点が高い者を上位とします。
	音楽科教育専攻	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、特技試験の得点が高い者を上位とします。ただし、特技試験もしくは全員対象試験のいずれかの得点が満点の1/3以下の場合には、不合格とします。
	美術科教育専攻	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、実技・美術活動調書の得点が高い者を上位とします。ただし、実技・美術活動調書の得点が満点（300点）の1/3以下の場合には不合格とします。

人間科学部【へるん一般型】

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
人 間 科 学 科	21名

2 出願要件

学 科	出 願 要 件
人間科学科	次の各号のいずれかに該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者 3 学校教育法施行規則第150条の規定により、「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者」及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者 [上記3に該当する者] ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 エ 文部科学大臣が指定した者 オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）に基づく大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和9年3月31日までに合格見込みの者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの カ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格したもの及び令和9年3月31日までに合格見込みのもの キ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの ※出願要件3の「ク」により出願を希望する者は、事前に入学資格審査が必要です。申請に関する詳細を教育・学生支援部入試課に問い合わせてください。 （申請期間：令和8年8月24日～8月26日）

3 入試方法、入試日程及び配点

(1) 入試方法

学 科		入 試 方 法	
人 間 科 学 科	第 1 次 選 考	第 1 次選考は、志願者数が募集人員の概ね 2.5 倍を超えた場合に実施することがあります。実施しない場合は、志願者全員を第 1 次選考合格者とします。 実施の有無については、令和 8 年 10 月 27 日（火）に本学ホームページ上（https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/）に掲載します。 （第 1 次選考を実施する場合） ① 出願書類「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」により選考を行います。 ② 第 1 次選考の結果は、令和 8 年 10 月 27 日（火）に以下のとおり通知します。電話、メール等での可否に関する問い合わせには、応じません。 A 第 1 次選考合格者には、「受験票ダウンロード通知」及び「第 2 次選考に関する通知」を出願時に登録したメールアドレスへ送信します。 B 第 1 次選考不合格者には、第 1 次選考結果と併せて、検定料返還手続書類を郵送します。 （第 1 次選考を実施しない場合） ① 志願者全員に「受験票ダウンロード通知」及び「第 2 次選考に関する通知」を出願時に登録したメールアドレスへ送信します。	
		第 1 次選考合格者に対し、読解・表現力試験、志望理由書を用いた「面接」を課し、この得点と「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」の評価を総合して選考します。	
	第 2 次 選 考	読解・表現力試験	すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。
		志望理由書を用いた「面接」	各志願者に対して数名の面接委員で、15 分程度行います。

(2) 入試日程

学 科	期 日	事 項	時 間
人 間 科 学 科	令和 8 年 11 月 14 日（土）	受 付	8:20 ～ 8:40
		読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
		「面接」	10:30 ～ 18:00
	令和 8 年 11 月 15 日（日）	受 付	8:20 ～ 8:40
		「面接」	9:00 ～ 18:00

※志願者数により 11 月 14 日（土）のみ実施となる可能性があります。

※「面接」は、志願者数によって終了時刻を変更することがあります。

※試験当日、「面接」の試験時間内において、控室で待機している時間が長くなる場合があります。自習などができる準備をしておいてください。

(3) 配点

学 科	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	読解・表現力試験	志望理由書を用いた「面接」	配点合計
人 間 科 学 科	80	100	100	280

4 採点・評価基準

学 科	項 目	採 点 ・ 評 価 基 準
人 間 科 学 科	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
	活動報告書	志願者が記述するもので、学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
	クローズアップシート	志願者が記述するもので、高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて、その活動にどう取り組んだのか、その振り返り等を評価します。
	読解・表現力試験	読み取った内容を理解し、それを記述する力があるかを評価します。
	志望理由書を用いた「面接」	本学部で学ぼうとする意欲と高校段階での学び（とくに主体的な活動体験，他者との協働体験等）に関わって，主体性と協働性を評価します。

5 合否判定基準

学 科	合 否 判 定 基 準
人 間 科 学 科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は，志望理由書を用いた「面接」の得点が高い者を上位とします。

人間科学部【へるん特定型】地域志向入試（島根県・鳥取県枠）

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
人 間 科 学 科	8 名

2 出願要件

学 科	出 願 要 件
人 間 科 学 科	次の1及び2の各号に該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 次の①から②のいずれかに該当する者 ① 島根県内又は鳥取県内の高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 ② 島根県内又は鳥取県内の高等専門学校で第3年次を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者 2 地域に貢献しようとする強い意志を有する者

へるん特定型の地域志向入試（島根県・鳥取県枠）に出願した者は、地域志向入試（島根県・鳥取県枠）において合格とならなかった場合は、人間科学部へるん一般型の選考の対象とします。その際、へるん一般型における第1次選考は合格したものとして取り扱います。

3 入試方法、入試日程及び配点

(1) 入試方法

学 科	入 試 方 法						
人 間 科 学 科	読解・表現力試験、志望理由書を用いた「面接」、地域志向レポートに基づく「地域志向面接」を課し、この得点と「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」の評価を総合して選考します。 <table border="1"> <tr> <td>読解・表現力試験</td><td>すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。</td></tr> <tr> <td>志望理由書を用いた「面接」</td><td>各志願者に対して数名の面接委員で、15分程度行います。</td></tr> <tr> <td>地域志向レポートに基づく「地域志向面接」</td><td>各志願者に対して数名の面接委員で、10分程度行います。</td></tr> </table>	読解・表現力試験	すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。	志望理由書を用いた「面接」	各志願者に対して数名の面接委員で、15分程度行います。	地域志向レポートに基づく「地域志向面接」	各志願者に対して数名の面接委員で、10分程度行います。
読解・表現力試験	すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。						
志望理由書を用いた「面接」	各志願者に対して数名の面接委員で、15分程度行います。						
地域志向レポートに基づく「地域志向面接」	各志願者に対して数名の面接委員で、10分程度行います。						

(2) 入試日程

学 科	期 日	事 項	時 間
人 間 科 学 科	令和8年11月14日（土）	受 付	8:20 ～ 8:40
		読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
		「面接」及び「地域志向面接」	10:30 ～ 18:00
	令和8年11月15日（日）	受 付	8:20 ～ 8:40
		「面接」及び「地域志向面接」	9:00 ～ 18:00

※志願者数により11月14日（土）のみ実施となる可能性があります。

※「面接」及び「地域志向面接」は、志願者数によって終了時刻を変更することがあります。

※試験当日、「面接」及び「地域志向面接」の試験時間内において、控室で待機している時間が長くなる場合があります。自習などができる準備をしておいてください。

(3) 配点

学 科	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	読解・表現力試験	志望理由書を用いた「面接」	地域志向レポートに基づく「地域志向面接」	配点合計
人 間 科 学 科	80	100	100	50	330

4 採点・評価基準

学 科	項 目	採 点 ・ 評 価 基 準
人 間 科 学 科	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
	活動報告書	志願者が記述するもので、学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
	クローズアップシート	志願者が記述するもので、高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて、その活動にどう取り組んだのか、その振り返り等を評価します。
	読解・表現力試験	読み取った内容を理解し、それを記述する力があるかを評価します。
	志望理由書を用いた「面接」	本学部で学ぼうとする意欲と高校段階での学び（とくに主体的な活動体験、他者との協働体験等）に関わって、主体性と協働性を評価します。
	地域志向レポートに基づく「地域志向面接」	「地域志向レポート」に基づいて地域への興味・関心を評価します。

5 合否判定基準

学 科	合 否 判 定 基 準
人 間 科 学 科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、地域志向レポートに基づく「地域志向面接」の得点の高い者を上位とします。
	へるん特定型の地域志向入試（島根県・鳥取県枠）に出願した者は、地域志向入試（島根県・鳥取県枠）において合格とならなかった場合は、人間科学部へるん一般型の選考の対象とします。その際、地域志向レポートに基づく「地域志向面接」の得点は加えないこととなります。

人間科学部【へるん特定型】専門高校入試

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
人 間 科 学 科	3 名

2 出願要件

学 科	出 願 要 件
人 間 科 学 科	次の 1 及び 2 に該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 高等学校又は中等教育学校の商業、家庭、看護、福祉、体育に関する学科又は総合学科（※）を卒業した者及び令和 9 年 3 月卒業見込みの者 （※総合学科：卒業に必要な単位のうち、商業、家庭、看護、福祉、体育に関する教科・科目（普通教科における単位は含まない。また、「産業社会と人間」は含まない。）について、20 単位以上修得（見込み）の者） 2 調査書の学習成績概評が A 段階である者 備考 出願要件に掲げる学科に該当するかどうか不明な場合は、事前に松江地区学部等事務部学務課人間科学部入試担当まで照会してください。 （〒690-8504 松江西市川津町 1060 TEL：(0852)32-6333）

へるん特定型の専門高校入試に出願した者は、へるん特定型の専門高校入試において合格とならなかった場合は、人間科学部へるん一般型の選考の対象とします。その際、へるん一般型における第 1 次選考は合格したものと取り扱います。

3 入試方法、入試日程及び配点

(1) 入試方法

学 科	入 試 方 法	
人 間 科 学 科	読解・表現力試験、志望理由書を用いた「面接」、口頭試問を課し、この得点と「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」の評価を総合して選考します。	
	読解・表現力試験	すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。
	志望理由書を用いた「面接」	各志願者に対して数名の面接委員で、15 分程度行います。
	口頭試問	各志願者に対して数名の面接委員で、10 分程度行います。

(2) 入試日程

学 科	期 日	事 項	時 間
人 間 科 学 科	令和 8 年 11 月 14 日（土）	受 付	8:20 ～ 8:40
		読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
		「面接」及び「口頭試問」	10:30 ～ 18:00
	令和 8 年 11 月 15 日（日）	受 付	8:20 ～ 8:40
		「面接」及び「口頭試問」	9:00 ～ 18:00

※志願者数により 11 月 14 日（土）のみ実施となる可能性があります。

※「面接」及び「口頭試問」は、志願者数によって終了時刻を変更することがあります。

※試験当日、「面接」及び「口頭試問」の試験時間内において、控室で待機している時間が長くなる場合があります。自習などができる準備をしておいてください。

(3) 配点

学 科	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	読解・表現力試験	志望理由書を用いた「面接」	口頭試問	配点合計
人 間 科 学 科	80	100	100	50	330

4 採点・評価基準

学 科	項 目	採 点 ・ 評 価 基 準
人 間 科 学 科	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
	活動報告書	志願者が記述するもので、学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
	クローズアップシート	志願者が記述するもので、高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて、その活動にどう取り組んだのか、その振り返り等を評価します。
	読解・表現力試験	読み取った内容を理解し、それを記述する力があるかを評価します。
	志望理由書を用いた「面接」	本学部で学ぼうとする意欲と高校段階での学び（とくに主体的な活動体験、他者との協働体験等）に関わって、主体性と協働性を評価します。
	口頭試問	専門学科での実績と、専門学科での学びを本学での学びに繋げることに関わる知的好奇心と探求心を評価します。

5 合否判定基準

学 科	合 否 判 定 基 準
人 間 科 学 科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、志望理由書を用いた「面接」の得点の高い者を上位とします。
へるん特定型の専門高校入試に出願した者は、専門高校入試において合格とならなかった場合は、人間科学部へるん一般型の選考の対象とします。その際、「口頭試問」の得点は加えないこととなります。	

総合理工学部【へるん一般型】

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
総 合 理 工 学 科	91名

2 出願要件

学科	出 願 要 件
総 合 理 工 学 科	次の各号のいずれかに該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者 3 学校教育法施行規則第150条の規定により、「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者」及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者 [上記3に該当する者] ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 エ 文部科学大臣が指定した者 オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）に基づく大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和9年3月31日までに合格見込みの者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの カ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格したもの及び令和9年3月31日までに合格見込みのもの キ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの ※出願要件3の「ク」により出願を希望する者は、事前に入学資格審査が必要です。申請に関する詳細を教育・学生支援部入試課に問い合わせてください。 （申請期間：令和8年8月24日～8月26日）

3 入試方法、入試日程及び配点

(1) 入試方法

学 科		入 試 方 法
総 合 理 工 学 科	第 1 次 選 考	第 1 次選考は、志願者数が募集人員の概ね 3 倍を超えた場合に実施することがあります。実施しない場合は、志願者全員を第 1 次選考合格者とします。 実施の有無については、令和 8 年 10 月 27 日（火）に本学ホームページ上（https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/）に掲載します。 （第 1 次選考を実施する場合） ① 「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」により選考を行います。 ② 第 1 次選考の結果は、令和 8 年 10 月 27 日（火）に以下のとおり通知します。電話、メール等での可否に関する問い合わせには、応じません。 A 第 1 次選考合格者には、「受験票ダウンロード通知」及び「第 2 次選考に関する通知」を出願時に登録したメールアドレスへ送信します。 B 第 1 次選考不合格者には、第 1 次選考結果と併せて、検定料返還手続き書類を郵送します。 （第 1 次選考を実施しない場合） ① 志願者全員に「受験票ダウンロード通知」及び「第 2 次選考に関する通知」を出願時に登録したメールアドレスへ送信します。
	第 2 次 選 考	第 1 次選考合格者に対し、読解・表現力試験、志望理由書を用いた「面接」を課し、この得点と「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」の評価を総合して選考します。
		読解・表現力試験 すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。
		志望理由書を用いた「面接」 各志願者に対して数名の面接委員で、15～20 分程度行います。

(2) 入試日程

学 科	期 日	事 項	時 間
総 合 理 工 学 科	令和 8 年 11 月 14 日（土）	受 付	8:20 ～ 8:40
		読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
		「面接」	10:30 ～ 18:00
	令和 8 年 11 月 15 日（日）	受 付	8:20 ～ 8:40
		「面接」	9:00 ～ 18:00

※志願者数により 11 月 14 日（土）のみ実施となる可能性があります。

※「面接」は、志願者数によって終了時刻を変更することがあります。

※試験当日、「面接」の試験時間内において、控室で待機している時間が長くなる場合があります。自習などができる準備をしておいてください。

(3) 配点

学 科	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	読解・表現力試験	志望理由書を用いた「面接」	配点合計
総 合 理 工 学 科	80	100	100	280

4 採点・評価基準

学 科	項 目	採 点 ・ 評 価 基 準
総 合 理 工 学 科	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
	活動報告書	志願者が記述するもので、学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
	クローズアップシート	志願者が記述するもので、高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて、その活動にどう取り組んだのか、その振り返り等を評価します。
	読解・表現力試験	読み取った内容を理解し、それを記述する力があるかを評価します。
	志望理由書を用いた「面接」	志望理由書を用いて面接し、「なぜ大学で学びたいのか、何を学びたいのか」、知的好奇心・探究心などを評価します。加えて、理学・工学に対する学習の熱意・適性、論理的思考力、理解力、表現能力を評価します。

5 合否判定基準

学 科	合 否 判 定 基 準
総 合 理 工 学 科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、志望理由書を用いた「面接」の得点が高い者を上位とします。

総合理工学部【へるん特定型】地域志向入試（島根県・鳥取県枠）

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
総 合 理 工 学 科	14名

2 出願要件

学科	出 願 要 件
総合理工学科	次の1及び2の各号に該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 次の①から②のいずれかに該当する者 ① 島根県内又は鳥取県内の高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 ② 島根県内又は鳥取県内の高等専門学校で第3年次を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者 2 地域に貢献しようとする強い意志を有する者

へるん特定型の地域志向入試を第1志望、へるん一般型を第2志望として併願することができます。この場合、併願は同一の学部学科に限ります。

3 入試方法、入試日程及び配点

(1) 入試方法

学科	入 試 方 法						
総合理工学科	読解・表現力試験、志望理由書を用いた「面接」、地域志向レポートに基づく「地域志向面接」を課し、この得点と「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」の評価を総合して選考します。 <table border="1"> <tr> <td>読解・表現力試験</td><td>すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。</td></tr> <tr> <td>志望理由書を用いた「面接」</td><td>各志願者に対して数名の面接委員で、15～20分程度行います。</td></tr> <tr> <td>地域志向レポートに基づく「地域志向面接」</td><td>各志願者に対して数名の面接委員で、10分程度行います。</td></tr> </table>	読解・表現力試験	すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。	志望理由書を用いた「面接」	各志願者に対して数名の面接委員で、15～20分程度行います。	地域志向レポートに基づく「地域志向面接」	各志願者に対して数名の面接委員で、10分程度行います。
読解・表現力試験	すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。						
志望理由書を用いた「面接」	各志願者に対して数名の面接委員で、15～20分程度行います。						
地域志向レポートに基づく「地域志向面接」	各志願者に対して数名の面接委員で、10分程度行います。						

(2) 入試日程

学 科	期 日	事 項	時 間
総合理工学科	令和8年11月14日（土）	受 付	8:20 ～ 8:40
		読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
		「面接」及び「地域志向面接」	10:30 ～ 18:00
	令和8年11月15日（日）	受 付	8:20 ～ 8:40
		「面接」及び「地域志向面接」	9:00 ～ 18:00

※志願者数により11月14日（土）のみ実施となる可能性があります。

※「面接」及び「地域志向面接」は、志願者数によって終了時刻を変更することがあります。

※試験当日、「面接」及び「地域志向面接」の試験時間内において、控室で待機している時間が長くなる場合があります。自習などができる準備をしておいてください。

(3) 配点

学 科	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	読解・表現力試験	志望理由書を用いた「面接」	地域志向レポートに基づく「地域志向面接」	配点合計
総合理工学科	80	100	100	50	330

4 採点・評価基準

学 科	項 目	採 点 ・ 評 価 基 準
総 合 理 工 学 科	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
	活動報告書	志願者が記述するもので、学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
	クローズアップシート	志願者が記述するもので、高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて、その活動にどう取り組んだのか、その振り返り等を評価します。
	読解・表現力試験	読み取った内容を理解し、それを記述する力があるかを評価します。
	志望理由書を用いた「面接」	志望理由書を用いて面接し、「なぜ大学で学びたいのか、何を学びたいのか」、知的好奇心・探究心などを評価します。加えて、理学・工学に対する学習の熱意・適性、論理的思考力、理解力、表現能力を評価します。
	地域志向レポートに基づく「地域志向面接」	地域志向レポートに基づいて面接し、興味関心、地域貢献への意欲などを評価します。

5 合否判定基準

学 科	合 否 判 定 基 準
総 合 理 工 学 科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、地域志向レポートに基づく「地域志向面接」の得点の高い者を上位とします。
へるん特定型の地域志向入試を第1志望，へるん一般型を第2志望として併願した人は，第1志望が合格にならなかった場合，へるん一般型の選抜対象になります。その際，地域志向レポートに基づく「地域志向面接」の得点は加えないこととなります。	

総合理工学部【へるん特定型】地域志向入試（全国枠）

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
総 合 理 工 学 科	4 名

2 出願要件

学 科	出 願 要 件
総 合 理 工 学 科	次の1及び2の各号に該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 ※へるん特定型地域志向入試（島根県・鳥取県枠）の出願要件を満たすものは、へるん特定型地域志向入試（全国枠）への出願はできません。 1 次の①から③のいずれかに該当する者 ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者」及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者 2 地域に貢献しようとする強い意志を有する者 [上記1の③に該当する者] ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 エ 文部科学大臣の指定した者 オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）に基づく大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和9年3月31日までに合格見込みの者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの カ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格したもの及び令和9年3月31日までに合格見込みのもの キ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの ※出願要件1の③の「ク」により出願を希望する者は、事前に入学資格審査が必要です。申請に関する詳細を教育・学生支援部入試課に問い合わせてください。 （申請期間：令和8年8月24日～8月26日）

へるん特定型の地域志向入試を第1志望、へるん一般型を第2志望として併願することができます。
この場合、併願は同一の学部学科に限ります。

3 入試方法、入試日程及び配点

(1) 入試方法

学科	入 試 方 法	
総合理工学科	読解・表現力試験，志望理由書を用いた「面接」，地域志向レポートに基づく「地域志向面接」を課し，この得点と「調査書」，「活動報告書」及び「クローズアップシート」の評価を総合して選考します。	
	読解・表現力試験	すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。
	志望理由書を用いた「面接」	各志願者に対して数名の面接委員で，15～20 分程度行います。
	地域志向レポートに基づく「地域志向面接」	各志願者に対して数名の面接委員で，10 分程度行います。

(2) 入試日程

学 科	期 日	事 項	時 間
総合理工学科	令和 8 年 11 月 14 日（土）	受 付	8:20 ～ 8:40
		読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
		「面接」及び「地域志向面接」	10:30 ～ 18:00
	令和 8 年 11 月 15 日（日）	受 付	8:20 ～ 8:40
		「面接」及び「地域志向面接」	9:00 ～ 18:00

※志願者数により 11 月 14 日（土）のみ実施となる可能性があります。

※「面接」及び「地域志向面接」は，志願者数によって終了時刻を変更することがあります。

※試験当日，「面接」及び「地域志向面接」の試験時間内において，控室で待機している時間が長くなる場合があります。自習などができる準備をしておいてください。

(3) 配点

学 科	「調査書」，「活動報告書」及び「クローズアップシート」	読解・表現力試験	志望理由書を用いた「面接」	地域志向レポートに基づく「地域志向面接」	配点合計
総合理工学科	80	100	100	50	330

4 採点・評価基準

学 科	項 目	採 点 ・ 評 価 基 準
総合理工学科	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
	活動報告書	志願者が記述するもので，学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
	クローズアップシート	志願者が記述するもので，高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて，その活動にどう取り組んだのか，その振り返り等を評価します。
	読解・表現力試験	読み取った内容を理解し，それを記述する力があるかを評価します。
	志望理由書を用いた「面接」	志望理由書を用いて面接し，「なぜ大学で学びたいのか，何を学びたいのか」，知的好奇心・探究心などを評価します。加えて，理学・工学に対する学習の熱意・適性，論理的思考力，理解力，表現能力を評価します。
	地域志向レポートに基づく「地域志向面接」	地域志向レポートに基づいて面接し，興味関心，地域貢献への意欲などを評価します。

5 合否判定基準

学 科	合 否 判 定 基 準
総 合 理 工 学 科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、地域志向レポートに基づく「地域志向面接」の得点の高い者を上位とします。
	へるん特定型の地域志向入試を第1志望，へるん一般型を第2志望として併願した人は，第1志望が合格にならなかった場合，へるん一般型の選抜対象になります。その際，地域志向レポートに基づく「地域志向面接」の得点は加えないこととなります。

総合理工学部【へるん特定型】専門高校入試

1 募集人員

学 科・分 野		募 集 人 員
総 合 理 工 学 科	先端ものづくり分野	4 名
	数理データサイエンス・IT・デジタル分野	4 名
	自然環境・住環境分野	4 名

2 出願要件

分野	出 願 要 件
先端ものづくり分野	次の 1 及び 2 の各号に該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 高等学校又は中等教育学校の工業に関する学科（化学，機械，電気，電子系）若しくは総合学科（※）を卒業した者及び令和 9 年 3 月卒業見込みの者 2 調査書の学習成績概評が A 段階である者 （※総合学科：卒業に必要な単位のうち，化学，機械，電気，電子系に関する教科・科目について，20 単位以上修得（見込み）の者） 備考 出願要件に掲げる学科に該当するかどうか不明な場合は，事前に松江地区学部等事務部学務課総合理工学部入試担当まで照会してください。 （〒690－8504 松江市西川津町 1060 TEL：（0852）32-6042）
数理・データサイエンス・IT・デジタル分野	次の 1 及び 2 の各号に該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 高等学校又は中等教育学校の情報に関する学科若しくは総合学科（※）を卒業した者及び令和 9 年 3 月卒業見込みの者 2 調査書の学習成績概評が A 段階である者 （※総合学科：卒業に必要な単位のうち，情報に関する教科・科目について，20 単位以上修得（見込み）の者） 備考 出願要件に掲げる学科に該当するかどうか不明な場合は，事前に松江地区学部等事務部学務課総合理工学部入試担当まで照会してください。 （〒690－8504 松江市西川津町 1060 TEL：（0852）32-6042）
自然環境・住環境分野	次の 1 及び 2 の各号に該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 高等学校又は中等教育学校の工業に関する学科（化学，建築，土木，地質系）若しくは総合学科（※）を卒業した者及び令和 9 年 3 月卒業見込みの者 2 調査書の学習成績概評が A 段階である者 （※総合学科：卒業に必要な単位のうち，化学，建築，土木，地質系の教科・科目について，20 単位以上修得（見込み）の者） 備考 出願要件に掲げる学科に該当するかどうか不明な場合は，事前に松江地区学部等事務部学務課総合理工学部入試担当まで照会してください。 （〒690－8504 松江市西川津町 1060 TEL：（0852）32-6042）

へるん特定型の専門高校入試を第1志望，へるん一般型を第2志望として併願することができます。この場合，併願は同一の学部学科に限ります。なお，へるん一般型で合格した場合は，入学後，2 年進級時に専門分野を決定します。

3 入試方法，入試日程及び配点

(1) 入試方法

分 野	入 試 方 法	
先端ものづくり分野	読解・表現力試験，志望理由書を用いた「面接」，口頭試問を課し，この得点と「調査書」，「活動報告書」及び「クローズアップシート」の評価を総合して選考します。	
	読解・表現力試験	すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。
	志望理由書を用いた「面接」	各志願者に対して数名の面接委員で，15～20 分程度行います。
	口頭試問	各志願者に対して数名の面接委員で，10 分程度行います。

ス・数理データサイエンス分野	読解・表現力試験，志望理由書を用いた「面接」，口頭試問を課し，この得点と「調査書」，「活動報告書」及び「クローズアップシート」，資格の評価を総合して選考します。	
	読解・表現力試験	すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。
	志望理由書を用いた「面接」	各志願者に対して数名の面接委員で，15～20 分程度行います。
	口頭試問	各志願者に対して数名の面接委員で，10 分程度行います。
自然環境・住環境分野	読解・表現力試験，志望理由書を用いた「面接」，口頭試問を課し，この得点と「調査書」，「活動報告書」及び「クローズアップシート」の評価を総合して選考します。	
	読解・表現力試験	すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。
	志望理由書を用いた「面接」	各志願者に対して数名の面接委員で，15～20 分程度行います。
	口頭試問	各志願者に対して数名の面接委員で，10 分程度行います。

(2) 入試日程

分 野	期 日	事 項	時 間
先端ものづくり分野 数理データサイエンス・IT・デジタル分野 自然環境・住環境分野	令和 8 年 11 月 14 日 (土)	受 付	8:20 ～ 8:40
		読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
		「面接」及び「口頭試問」	10:30 ～ 18:00
	令和 8 年 11 月 15 日 (日)	受 付	8:20 ～ 8:40
		「面接」及び「口頭試問」	9:00 ～ 18:00

※志願者数により 11 月 14 日 (土) のみ実施となる可能性があります。

※「面接」及び「口頭試問」は，志願者数によって終了時刻を変更することがあります。

※試験当日，「面接」及び「口頭試問」の試験時間内において，控室で待機している時間が長くなる場合があります。自習などができる準備をしておいてください。

(3) 配点

分 野	「調査書」， 「活動報告書」及び「クローズアップシート」	読解・表現力試験	志望理由書を用いた「面接」	口頭試問	口頭試問及び資格	配点合計
先端ものづくり分野	80	100	100	20	-	300
数理データサイエンス・IT・デジタル分野	80	100	100	-	50	330
自然環境・住環境分野	80	100	100	20	-	300

4 採点・評価基準

分 野	項 目	採 点 ・ 評 価 基 準
先端ものづくり分野	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
	活動報告書	志願者が記述するもので，学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
	クローズアップシート	志願者が記述するもので，高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて，その活動にどう取り組んだのか，その振り返り等を評価します。
	読解・表現力試験	読み取った内容を理解し，それを記述する力があるかを評価します。

分 野	項 目	採 点 ・ 評 価 基 準
先端ものづくり分野	志望理由書を用いた「面接」	志望理由書を用いて面接し、「なぜ大学で学びたいのか、何を学びたいのか」、知的好奇心・探究心などを評価します。加えて、理学・工学に対する学習の熱意・適性、論理的思考力、理解力、表現能力を評価します。
	口頭試問	工業分野に関する専門高校で学ぶ基礎的知識を評価します。
数理データサイエンス・IT・デジタル分野	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
	活動報告書	志願者が記述するもので、学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
	クローズアップシート	志願者が記述するもので、高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて、その活動にどう取り組んだのか、その振り返り等を評価します。
	読解・表現力試験	読み取った内容を理解し、それを記述する力があるかを評価します。
	志望理由書を用いた「面接」	志望理由書を用いて面接し、「なぜ大学で学びたいのか、何を学びたいのか」、知的好奇心・探究心などを評価します。加えて、理学・工学に対する学習の熱意・適性、論理的思考力、理解力、表現能力を評価します。
	口頭試問及び資格	情報科学及び情報工学に関する専門高校で学ぶ基礎的知識を評価します。また「情報処理技術者」「情報処理安全確保支援士」の有資格者に加点します。
自然環境・住環境分野	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
	活動報告書	志願者が記述するもので、学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
	クローズアップシート	志願者が記述するもので、高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて、その活動にどう取り組んだのか、その振り返り等を評価します。
	読解・表現力試験	読み取った内容を理解し、それを記述する力があるかを評価します。
	志望理由書を用いた「面接」	志望理由書を用いて面接し、「なぜ大学で学びたいのか、何を学びたいのか」、知的好奇心・探究心などを評価します。 加えて、理学・工学に対する学習の熱意・適性、論理的思考力、理解力、表現能力を評価します。
	口頭試問	工業分野に関する専門高校で学ぶ基礎的知識を評価します。

5 合否判定基準

分 野	合 否 判 定 基 準
先端ものづくり分野 数理データサイエンス・IT・デジタル分野 自然環境・住環境分野	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、志望理由書を用いた「面接」の得点が高い者を上位とします。
へるん特定型の専門高校入試を第1志望、へるん一般型を第2志望として併願した人は、第1志望が合格にならなかった場合、へるん一般型の選抜対象になります。その際、口頭試問（先端ものづくり分野、自然環境・住環境分野）、口頭試問及び資格（数理データサイエンス・IT・デジタル分野）の得点は加えないこととなります。	

総合理工学部【へるん特定型】グローバル英語入試

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
総 合 理 工 学 科	7 名

2 出願要件

学科	出 願 要 件
総合理工学科	次の1及び2の各号に該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 次の①から③のいずれかに該当する者 ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者」及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者 2 2024年4月以降に実用英語技能検定((従来型の)英検, 英検 CBT, 英検 S-CBT, 英検 S-Interview のいずれも可)を受験し2級以上を取得した者, または 2024年4月以降に GTEC (検定版 (Basic, Advanced) , CBT タイプのいずれも可)を受験し930点以上を得点した者 [上記1の③に該当する者] ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 ウ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 エ 文部科学大臣の指定した者 オ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により, 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)に基づく大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び令和9年3月31日までに合格見込みの者で, 令和9年3月31日までに18歳に達するもの カ 学校教育法(昭和22年法律第26号)第90条第2項の規定により大学に入学した者であって, 高等学校卒業程度認定審査規則(令和4年文部科学省令第18号)による高等学校卒業程度認定審査に合格したもの及び令和9年3月31日までに合格見込みのもの キ 学校教育法(昭和22年法律第26号)第90条第2項の規定により大学に入学した者であって, 本学において大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの ク 本学において, 個別の入学資格審査により, 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で, 令和9年3月31日までに18歳に達するもの ※出願要件1の③の「ク」により出願を希望する者は, 事前に入学資格審査が必要です, 申請に関する詳細を教育・学生支援部入試課に問い合わせてください。 (申請期間: 令和8年8月24日~8月26日)

へるん特定型のグローバル英語入試を第1志望, へるん一般型を第2志望として併願することができます。この場合, 併願は同一の学部学科に限ります。

3 入試方法、入試日程及び配点

(1) 入試方法

学科	入 試 方 法	
総合理工学科	読解・表現力試験，志望理由書を用いた「面接」，グローバル英語入試志望理由書に基づく「英語面接」を課し，この成績と「調査書」，「活動報告書」及び「クローズアップシート」，英語資格・検定試験の評価を総合して選考します。	
	読解・表現力試験	すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。
	志望理由書を用いた「面接」	各志願者に対して数名の面接委員で，15分程度行います。
	グローバル英語入試志望理由書に基づく「英語面接」	英語による面接を，各志願者に対して数名の面接委員で，10分程度行います。

(2) 入試日程

学 科	期 日	事 項	時 間
総合理工学科	令和8年11月14日（土）	受 付	8:20 ～ 8:40
		読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
		「面接」及び「英語面接」	10:30 ～ 18:00
	令和8年11月15日（日）	受 付	8:20 ～ 8:40
		「面接」及び「英語面接」	9:00 ～ 18:00

※志願者数により11月14日（土）のみ実施となる可能性があります。

※「面接」及び「英語面接」は，志願者数によって終了時刻を変更することがあります。

※試験当日，「面接」及び「英語面接」の試験時間内において，控室で待機している時間が長くなる場合があります。自習などができる準備をしておいてください。

(3) 配点

学 科	「調査書」，「活動報告書」及び「クローズアップシート」	読解・表現力試験	志望理由書を用いた「面接」	英語資格・検定試験	グローバル英語入試志望理由書に基づく「英語面接」	配点合計
総合理工学科	80	100	100	30	20	330

4 採点・評価基準

学 科	項 目	採 点 ・ 評 価 基 準
総合理工学科	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
	活動報告書	志願者が記述するもので，学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
	クローズアップシート	志願者が記述するもので，高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて，その活動にどう取り組んだのか，その振り返り等を評価します。
	読解・表現力試験	読み取った内容を理解し，それを記述する力があるかを評価します。
	志望理由書を用いた「面接」	志望理由書を用いて面接し，「なぜ大学で学びたいのか，何を学びたいのか」，知的好奇心・探究心などを評価します。加えて，理学・工学に対する学習の熱意・適性，論理的思考力，理解力，表現能力を評価します。
	英語資格・検定試験	英検準1級以上，またはGTEC 1180点以上（30点） 英検2級，またはGTEC 930点以上（15点） （加点対象にできるのは「実用英語技能検定」または「GTEC」のいずれか一つです。）

総合理工学科	グローバル英語入試志望理由書に基づく「英語面接」	グローバル英語入試志望理由書に基づいて、「英語面接」を行い、英語力及び英語力を活用し挑戦してみたいことなどについて評価します。
--------	--------------------------	---

5 合否判定基準

学 科	合 否 判 定 基 準
総 合 理 工 学 科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、グローバル英語入試志望理由書に基づく「英語面接」の得点の高い者を上位とします。
へるん特定型のグローバル英語入試を第1志望，へるん一般型を第2志望として併願した人は，第1志望が合格にならなかった場合，へるん一般型の選抜対象になります。その際，グローバル英語入試志望理由書に基づく「英語面接」，英語資格・検定試験の得点は加えないこととなります。	

材料エネルギー学部【へるん一般型】

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
材 料 エ ネ ル ギ ー 学 科	1 2 名

2 出願要件

学 科	出 願 要 件
材料エネルギー学科	次の各号のいずれかに該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 9 年 3 月卒業見込みの者 2 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 9 年 3 月修了見込みの者 3 学校教育法施行規則第 150 条の規定により、「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者」及び令和 9 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者 [上記 3 に該当する者] ア 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 ウ 専修学校の高等課程（修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 エ 文部科学大臣が指定した者 オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成 17 年文部科学省令第 1 号）により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和 26 年文部省令第 13 号）に基づく大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和 9 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、令和 9 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの カ 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和 4 年文部科学省令第 18 号）による高等学校卒業程度認定審査に合格したもの及び令和 9 年 3 月 31 日までに合格見込みのもの キ 学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和 9 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの ※出願要件 3 の「ク」により出願を希望する者は、事前に入学資格審査が必要です。申請に関する詳細を教育・学生支援部入試課に問い合わせてください。 (申請期間：令和 8 年 8 月 24 日～8 月 26 日)

3 入試方法、入試日程及び配点

(1) 入試方法

学科		入 試 方 法			
材料エネルギー学科	第1次選考	第1次選考は、志願者数が募集人員の概ね3倍を超えた場合に実施することがあります。実施しない場合は、志願者全員を第1次選考合格者とします。 実施の有無については、令和8年10月27日（火）に本学ホームページ上（https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/）に掲載します。 （第1次選考を実施する場合） ① 出願書類「調査書」，「活動報告書」及び「クローズアップシート」により選考を行います。 ② 第1次選考の結果は、令和8年10月27日（火）に以下のとおり通知します。電話、メール等での可否に関する問い合わせには、応じません。 A 第1次選考合格者には、「受験票ダウンロード通知」及び「第2次選考に関する通知」を出願時に登録したメールアドレスへ送信します。 B 第1次選考不合格者には、第1次選考結果と併せて、検定料返還手続書類を郵送します。 （第1次選考を実施しない場合） ① 志願者全員に「受験票ダウンロード通知」及び「第2次選考に関する通知」を出願時に登録したメールアドレスへ送信します。			
	第2次選考	第1次選考合格者に対し、読解・表現力試験，志望理由書を用いた「面接」を課し、この得点と「調査書」，「活動報告書」及び「クローズアップシート」の評価を総合して選考します。 <table><tr><td>読解・表現力試験</td><td>すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。</td></tr><tr><td>志望理由書を用いた「面接」</td><td>各志願者に対して数名の面接委員で、15分程度行います。</td></tr></table>	読解・表現力試験	すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。	志望理由書を用いた「面接」
読解・表現力試験	すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。				
志望理由書を用いた「面接」	各志願者に対して数名の面接委員で、15分程度行います。				

(2) 入試日程

学 科	期 日	事 項	時 間
材料エネルギー学科	令和8年11月14日（土）	受 付	8:20 ～ 8:40
		読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
		「面接」	10:30 ～ 18:00
	令和8年11月15日（日）	受 付	8:20 ～ 8:40
		「面接」	9:00 ～ 18:00

※志願者数により11月14日（土）のみ実施となる可能性があります。

※「面接」は、志願者数によって終了時刻を変更することがあります。

※試験当日、「面接」の試験時間内において、控室で待機している時間が長くなる場合があります。自習などができる準備をしておいてください。

(3) 配点

学 科	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	読解・表現力試験	志望理由書を用いた「面接」	配点合計
材料エネルギー学科	80	100	100	280

4 採点・評価基準

学 科	項 目	採 点 ・ 評 価 基 準
材料エネルギー学 科	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
	活動報告書	志願者が記述するもので、学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
	クローズアップシート	志願者が記述するもので、高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて、その活動にどう取り組んだのか、その振り返り等を評価します。
	読解・表現力試験	読み取った内容を理解し、それを記述する力があるかを評価します。
	志望理由書を用いた「面接」	志望理由書を用いて面接し、「なぜ大学で学びたいのか、何を学びたいのか」、知的好奇心・探究心などを評価します。理科，材料科学あるいはエネルギー問題に対する熱意，適性，論理的思考能力，理解力，表現能力，理科の基礎的知識を評価します。

5 合否判定基準

学 科	合 否 判 定 基 準
材料エネルギー学 科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、志望理由書を用いた「面接」の得点が高い者を上位とします。

材料エネルギー学部【へるん特定型】地域志向入試（島根県・鳥取県枠）

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
材 料 エ ネ ル ギ ー 学 科	8 名

2 出願要件

学 科	出 願 要 件
材料エネルギー学 科	次の1及び2の各号に該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 次の①から②のいずれかに該当する者 ① 島根県内又は鳥取県内の高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 ② 島根県内又は鳥取県内の高等専門学校で第3年次を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者 2 地域に貢献しようとする強い意志を有する者

へるん特定型の地域志向入試を第1志望、へるん一般型を第2志望として併願することができます。
この場合、併願は同一の学部学科に限ります。

3 入試方法、入試日程及び配点

(1) 入試方法

学 科	入 試 方 法	
材料エネルギー学 科	読解・表現力試験、志望理由書を用いた「面接」、地域志向レポートに基づく「地域志向面接」を課し、この得点と「調査書」、「活動報告書」及び「クロウズアップシート」の評価を総合して選考します。	
	読解・表現力試験	すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。
	志望理由書を用いた「面接」	各志願者に対して数名の面接委員で、15分程度行います。
	地域志向レポートに基づく「地域志向面接」	各志願者に対して数名の面接委員で、10分程度行います。

(2) 入試日程

学 科	期 日	事 項	時 間
材料エネルギー学 科	令和8年11月14日（土）	受 付	8:20 ～ 8:40
		読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
		「面接」及び「地域志向面接」	10:30 ～ 18:00
	令和8年11月15日（日）	受 付	8:20 ～ 8:40
		「面接」及び「地域志向面接」	9:00 ～ 18:00

※志願者数により11月14日（土）のみ実施となる可能性があります。

※「面接」及び「地域志向面接」は、志願者数によって終了時刻を変更することがあります。

※試験当日、「面接」及び「地域志向面接」の試験時間内において、控室で待機している時間が長くなる場合があります。自習などができる準備をしておいてください。

(3) 配点

学 科	「調査書」、「活動報告書」及び「クロウズアップシート」	読解・表現力試験	志望理由書を用いた「面接」	地域志向レポートに基づく「地域志向面接」	配点合計
材料エネルギー学 科	80	100	100	50	330

4 採点・評価基準

学 科	項 目	採 点 ・ 評 価 基 準
材料エネルギー学 科	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
	活動報告書	志願者が記述するもので、学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
	クローズアップシート	志願者が記述するもので、高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて、その活動にどう取り組んだのか、その振り返り等を評価します。
	読解・表現力試験	読み取った内容を理解し、それを記述する力があるかを評価します。
	志望理由書を用いた「面接」	志望理由書を用いて面接し、「なぜ大学で学びたいのか、何を学びたいのか」、知的好奇心・探究心などを評価します。 理科，材料科学あるいはエネルギー問題に対する熱意，適性，論理的思考能力，理解力，表現能力，理科の基礎的知識を評価します。
	地域志向レポートに基づく「地域志向面接」	地域志向レポートに基づいて面接し，興味関心，地域貢献への意欲などを評価します。

5 合否判定基準

学 科	合 否 判 定 基 準
材料エネルギー学 科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は，地域志向レポートに基づく「地域志向面接」の得点の高い者を上位とします。
へるん特定型の地域志向入試を第1志望，へるん一般型を第2志望として併願した人は，第1志望が合格にならなかった場合，へるん一般型の選抜対象になります。その際，地域志向レポートに基づく「地域志向面接」の得点は加えないこととなります。	

材料エネルギー学部【へるん特定型】専門高校入試

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
材 料 エ ネ ル ギ ー 学 科	3 名

2 出願要件

学 科	出 願 要 件
材料エネルギー学 科	次の 1 及び 2 の各号に該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 高等学校又は中等教育学校の工業に関する学科若しくは総合学科（※）を卒業した者及び令和 9 年 3 月卒業見込みの者 2 調査書の学習成績概評が A 段階である者 （※総合学科：卒業に必要な単位のうち、工業に関する教科・科目について、20 単位以上修得（見込み）の者） 備考 出願要件に掲げる学科に該当するかどうか不明な場合は、事前に松江地区学部等事務部学務課材料エネルギー学部入試担当まで照会してください。 （〒690-8504 松江市西川津町 1060 TEL：（0852）32-6661）

へるん特定型の専門高校入試を第1志望、へるん一般型を第2志望として併願することができます。
この場合、併願は同一の学部学科に限ります。

3 入試方法、入試日程及び配点

(1) 入試方法

学 科	入 試 方 法	
材料エネルギー学 科	読解・表現力試験、志望理由書を用いた「面接」、口頭試問を課し、この得点と「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」の評価を総合して選考します。	
	読解・表現力試験	すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。
	志望理由書を用いた「面接」	各志願者に対して数名の面接委員で、15 分程度行います。
	口頭試問	各志願者に対して数名の面接委員で、10 分程度行います。

(2) 入試日程

学 科	期 日	事 項	時 間
材料エネルギー学 科	令和 8 年 11 月 14 日（土）	受 付	8:20 ～ 8:40
		読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
		「面接」及び「口頭試問」	10:30 ～ 18:00
	令和 8 年 11 月 15 日（日）	受 付	8:20 ～ 8:40
		「面接」及び「口頭試問」	9:00 ～ 18:00

※志願者数により 11 月 14 日（土）のみ実施となる可能性があります。

※「面接」及び「口頭試問」は、志願者数によって終了時刻を変更することがあります。

※試験当日、「面接」及び「口頭試問」の試験時間内において、控室で待機している時間が長くなる場合があります。自習などができる準備をしておいてください。

(3) 配点

学 科	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	読解・表現力試験	志望理由書を用いた「面接」	口頭試問	配点合計
材料エネルギー学 科	80	100	100	20	300

4 採点・評価基準

学 科	項 目	採 点 ・ 評 価 基 準
材料エネルギー学 科	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
	活動報告書	志願者が記述するもので、学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
	クローズアップシート	志願者が記述するもので、高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて、その活動にどう取り組んだのか、その振り返り等を評価します。
	読解・表現力試験	読み取った内容を理解し、それを記述する力があるかを評価します。
	志望理由書を用いた「面接」	志望理由書を用いて面接し、「なぜ大学で学びたいのか、何を学びたいのか」、知的好奇心・探究心などを評価します。 理科，材料科学あるいはエネルギー問題に対する熱意，適性，論理的思考能力，理解力，表現能力，理科の基礎的知識を評価します。
	口頭試問	理科に関する基礎的知識及び専門高校における活動実績を評価します。

5 合否判定基準

学 科	合 否 判 定 基 準
材料エネルギー学 科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、志望理由書を用いた「面接」の得点の高い者を上位とします。
へるん特定型の専門高校入試を第1志望，へるん一般型を第2志望として併願した人は，第1志望が合格にならなかった場合，へるん一般型の選抜対象になります。その際，口頭試問の得点は加えないこととなります。	

材料エネルギー学部【へるん特定型】グローバル英語入試

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
材 料 エ ネ ル ギ ー 学 科	3 名

2 出願要件

学 科	出 願 要 件
材 料 エ ネ ル ギ ー 学 科	次の 1 及び 2 の各号に該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 次の①から③のいずれかに該当する者 ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和 9 年 3 月卒業見込みの者 ② 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び令和 9 年 3 月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第 150 条の規定により、「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者」及び令和 9 年 3 月 31 日までにこれに該当する見込みの者 2 2024 年 4 月以降に実用英語技能検定((従来型の)英検, 英検 CBT, 英検 S-CBT, 英検 S-Interview のいずれも可)を受験し 2 級以上を取得した者, または 2024 年 4 月以降に GTEC (検定版 (Basic, Advanced) , CBT タイプのいずれも可)を受験し 930 点以上を得点した者 [上記 1 の③に該当する者] ア 外国において学校教育における 12 年の課程を修了した者及び令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 ウ 専修学校の高等課程 (修業年限が 3 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。) で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和 9 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 エ 文部科学大臣の指定した者 オ 高等学校卒業程度認定試験規則 (平成 17 年文部科学省令第 1 号) により, 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者 (同規則附則第 2 条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程 (昭和 26 年文部省令第 13 号) に基づく大学入学資格検定に合格した者を含む。) 及び令和 9 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で, 令和 9 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの カ 学校教育法 (昭和 22 年法律第 26 号) 第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって, 高等学校卒業程度認定審査規則 (令和 4 年文部科学省令第 18 号) による高等学校卒業程度認定審査に合格したもの及び令和 9 年 3 月 31 日までに合格見込みのもの キ 学校教育法 (昭和 22 年法律第 26 号) 第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって, 本学において大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの ク 本学において, 個別の入学資格審査により, 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で, 令和 9 年 3 月 31 日までに 18 歳に達するもの ※出願要件 1 の③の「ク」により出願を希望する者は, 事前に入学資格審査が必要です, 申請に関する詳細を教育・学生支援部入試課に問い合わせてください。 (申請期間: 令和 8 年 8 月 24 日～8 月 26 日)

へるん特定型のグローバル英語入試を第 1 志望, へるん一般型を第 2 志望として併願することができます。この場合, 併願は同一の学部学科に限ります。

3 入試方法、入試日程及び配点

(1) 入試方法

学 科	入 試 方 法	
材料エネルギー学 科	読解・表現力試験、志望理由書を用いた「面接」、グローバル英語入試志望理由書に基づく「英語面接」を課し、この得点と「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、英語資格・検定試験の評価を総合して選考します。	
	読解・表現力試験	すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。
	志望理由書を用いた「面接」	各志願者に対して数名の面接委員で、15分程度行います。
	グローバル英語入試志望理由書に基づく「英語面接」	英語による面接を、各志願者に対して数名の面接委員で、10分程度行います。

(2) 入試日程

学 科	期 日	事 項	時 間
材料エネルギー学 科	令和8年11月14日(土)	受 付	8:20 ～ 8:40
		読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
		「面接」及び「英語面接」	10:30 ～ 18:00
	令和8年11月15日(日)	受 付	8:20 ～ 8:40
		「面接」及び「英語面接」	9:00 ～ 18:00

※志願者数により11月14日(土)のみ実施となる可能性があります。

※「面接」及び「英語面接」は、志願者数によって終了時刻を変更することがあります。

※試験当日、「面接」及び「英語面接」の試験時間内において、控室で待機している時間が長くなる場合があります。自習などができる準備をしておいてください。

(3) 配点

学 科	「調査書」, 「活動報告書」及び「クローズアップシート」	読解・表現力試験	志望理由書を用いた「面接」	英語資格・検定試験	グローバル英語入試志望理由書に基づく「英語面接」	配点合計
材料エネルギー学 科	80	100	100	30	20	330

4 採点・評価基準

学 科	項 目	採 点 ・ 評 価 基 準
材料エネルギー学 科	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
	活動報告書	志願者が記述するもので、学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
	クローズアップシート	志願者が記述するもので、高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて、その活動にどう取り組んだのか、その振り返り等を評価します。
	読解・表現力試験	読み取った内容を理解し、それを記述する力があるかを評価します。
	志望理由書を用いた「面接」	志望理由書を用いて面接し、「なぜ大学で学びたいのか、何を学びたいのか」、知的好奇心・探究心などを評価します。理科、材料科学あるいはエネルギー問題に対する熱意、適性、論理的思考能力、理解力、表現能力、理科の基礎的知識を評価します。
	英語資格・検定試験	英検準1級以上、またはGTEC1180点以上(30点) 英検2級、またはGTEC930点以上(15点) (加点対象にできるのは「実用英語技能検定」または「GTEC」のいずれか一つです。)

学 科	項 目	採 点 ・ 評 価 基 準
材料エネルギー学 科	グローバル英語入試志望理由書に基づく「英語面接」	グローバル英語入試志望理由書に基づいて、「英語面接」を行い、英語力及び英語力を活用し挑戦してみたいことなどについて評価します。

5 合否判定基準

学 科	合 否 判 定 基 準
材料エネルギー学 科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、グローバル英語入試志望理由書に基づく「英語面接」の得点の高い者を上位とします。
	へるん特定型のグローバル英語入試を第1志望，へるん一般型を第2志望として併願した人は，第1志望が合格にならなかった場合，へるん一般型の選抜対象になります。その際，グローバル英語入試志望理由書に基づく「英語面接」，英語資格・検定試験の得点は加えないこととなります。

生物資源科学部【へるん一般型】

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
生 命 科 学 科	22名
農 林 生 産 学 科	15名
環 境 共 生 科 学 科	16名

2 出願要件

学科	出 願 要 件
全学科	次の各号のいずれかに該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者 3 学校教育法施行規則第150条の規定により、「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者」及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者 [上記3に該当する者] ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 エ 文部科学大臣が指定した者 オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）に基づく大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和9年3月31日までに合格見込みの者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの カ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格したもの及び令和9年3月31日までに合格見込みのもの キ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの ※出願要件3の「ク」により出願を希望する者は、事前に入学資格審査が必要です。申請に関する詳細を教育・学生支援部入試課に問い合わせてください。 （申請期間：令和8年8月24日～8月26日）

3 入試方法、入試日程及び配点

(1) 入試方法

学科	入 試 方 法	
全学科	第1次選考	第1次選考は、志願者数が募集人員の概ね3倍を超えた場合に実施することがあります。実施しない場合は、志願者全員を第1次選考合格者とします。 実施の有無については、令和8年10月27日（火）に本学ホームページ上（https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/）に掲載します。 （第1次選考を実施する場合） ① 出願書類「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」により選考を行います。 ② 第1次選考の結果は、令和8年10月27日（火）に以下のとおり通知します。電話、メール等での可否に関する問い合わせには、応じません。 A 第1次選考合格者には、「受験票ダウンロード通知」及び「第2次選考に関する通知」を出願時に登録したメールアドレスへ送信します。 B 第1次選考不合格者には、第1次選考結果と併せて、検定料返還手続書類を郵送します。 （第1次選考を実施しない場合） ① 志願者全員に「受験票ダウンロード通知」及び「第2次選考に関する通知」を出願時に登録したメールアドレスへ送信します。
		第1次選考合格者に対し、読解・表現力試験、志望理由書を用いた「面接」を課し、この得点と「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」の評価を総合して選考します。
	第2次選考	読解・表現力試験 すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。
		志望理由書を用いた「面接」 各志願者に対して数名の面接委員で、15分程度行います。

(2) 入試日程

学 科	期 日	事 項	時 間
全 学 科	令和8年11月14日（土）	受 付	8:20 ～ 8:40
		読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
		「面接」	10:30 ～ 18:00
	令和8年11月15日（日）	受 付	8:20 ～ 8:40
		「面接」	9:00 ～ 18:00

※志願者数により11月14日（土）のみ実施となる可能性があります。

※「面接」は、志願者数によって終了時刻を変更することがあります。

※試験当日、「面接」の試験時間内において、控室で待機している時間が長くなる場合があります。自習などができる準備をしておいてください。

(3) 配点

学 科	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	読解・表現力試験	志望理由書を用いた「面接」	配点合計
全 学 科	80	100	100	280

4 採点・評価基準

学 科	項 目	採 点 ・ 評 価 基 準
全 学 科	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
	活動報告書	志願者が記述するもので、学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
	クローズアップシート	志願者が記述するもので、高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて、その活動にどう取り組んだのか、その振り返り等を評価します。
	読解・表現力試験	読み取った内容を理解し、それを記述する力があるかを評価します。
	志望理由書を用いた「面接」	志望理由書を用いて面接し、学習意欲・目的、知的好奇心・探究心、論理的思考力、志望する専門分野に関する科学的知識などを評価します。

5 合否判定基準

学 科	合 否 判 定 基 準
全 学 科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、志望理由書を用いた「面接」の得点が高い者を上位とします。

生物資源科学部【へるん特定型】地域志向入試（島根県・鳥取県枠）

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
生 命 科 学 科	9 名
農 林 生 産 学 科	
環 境 共 生 科 学 科	

2 出願要件

学 科	出 願 要 件
全 学 科	次の 1 及び 2 の各号に該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 次の①から②のいずれかに該当する者 ① 島根県内又は鳥取県内の高等学校（特別支援学校の高等部を含む）又は中等教育学校を卒業した者及び令和 9 年 3 月卒業見込みの者 ② 島根県内又は鳥取県内の高等専門学校で第 3 年次を修了した者及び令和 9 年 3 月修了見込みの者 2 地域に貢献しようとする強い意志を有する者

へるん特定型の地域志向入試を第1志望、へるん一般型を第2志望として併願することができます。
この場合、併願は同一の学部学科に限ります。

3 入試方法、入試日程及び配点

(1) 入試方法

学 科	入 試 方 法
全 学 科	読解・表現力試験、志望理由書を用いた「面接」、地域志向レポートに基づく「地域志向面接」を課し、この得点と「調査書」、「活動報告書」及び「クロズアップシート」の評価を総合して選考します。
	読解・表現力試験 すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。
	志望理由書を用いた「面接」 各志願者に対して数名の面接委員で、15 分程度行います。
	地域志向レポートに基づく「地域志向面接」 各志願者に対して数名の面接委員で、10 分程度行います。

(2) 入試日程

学 科	期 日	事 項	時 間
全 学 科	令和 8 年 11 月 14 日（土）	受 付	8:20 ～ 8:40
		読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
		「面接」及び「地域志向面接」	10:30 ～ 18:00
	令和 8 年 11 月 15 日（日）	受 付	8:20 ～ 8:40
		「面接」及び「地域志向面接」	9:00 ～ 18:00

※志願者数により 11 月 14 日（土）のみ実施となる可能性があります。

※「面接」及び「地域志向面接」は、志願者数によって終了時刻を変更することがあります。

※試験当日、「面接」及び「地域志向面接」の試験時間内において、控室で待機している時間が長くなる場合があります。自習などができる準備をしておいてください。

(3) 配点

学 科	「調査書」、「活動報告書」及び「クロズアップシート」	読解・表現力試験	志望理由書を用いた「面接」	地域志向レポートに基づく「地域志向面接」	配点合計
全 学 科	80	100	100	50	330

4 採点・評価基準

学 科	項 目	採 点 ・ 評 価 基 準
全 学 科	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
	活動報告書	志願者が記述するもので、学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
	クローズアップシート	志願者が記述するもので、高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて、その活動にどう取り組んだのか、その振り返り等を評価します。
	読解・表現力試験	読み取った内容を理解し、それを記述する力があるかを評価します。
	志望理由書を用いた「面接」	志望理由書を用いて面接し、学習意欲・目的、知的好奇心・探究心、論理的思考力、志望する専門分野に関する科学的知識などを評価します。
	地域志向レポートに基づく「地域志向面接」	地域志向レポートに基づいて面接し、興味関心、地域貢献への意欲などを評価します。

5 合否判定基準

学 科	合 否 判 定 基 準
全 学 科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、地域志向レポートに基づく「地域志向面接」の得点の高い者を上位とします。
へるん特定型の地域志向入試を第1志望、へるん一般型を第2志望として併願した人は、第1志望が合格にならなかった場合、へるん一般型の選抜対象になります。その際、地域志向レポートに基づく「地域志向面接」の得点は加えないこととなります。	

生物資源科学部【へるん特定型】地域志向入試（全国枠）

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
生 命 科 学 科	3 名
農 林 生 産 学 科	
環 境 共 生 科 学 科	

2 出願要件

学科	出 願 要 件
全学科	次の1及び2の各号に該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 ※へるん特定型地域志向入試（島根県・鳥取県枠）の出願要件を満たすものは、へるん特定型地域志向入試（全国枠）への出願はできません。 1 次の①から③のいずれかに該当する者 ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者」及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者 2 地域に貢献しようとする強い意志を有する者 [上記1の③に該当する者] ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 エ 文部科学大臣の指定した者 オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により、文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）に基づく大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和9年3月31日までに合格見込みの者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの カ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則（令和4年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格したもの及び令和9年3月31日までに合格見込みのもの キ 学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの ※出願要件1の③の「ク」により出願を希望する者は、事前に入学資格審査が必要です。申請に関する詳細を教育・学生支援部入試課に問い合わせてください。 （申請期間：令和8年8月24日～8月26日）

へるん特定型の地域志向入試を第1志望、へるん一般型を第2志望として併願することができます。
 この場合、併願は同一の学部学科に限ります。

3 入試方法、入試日程及び配点

(1) 入試方法

学 科	入 試 方 法	
全 学 科	読解・表現力試験，志望理由書を用いた「面接」，地域志向レポートに基づく「地域志向面接」を課し，この得点と「調査書」，「活動報告書」及び「クローズアップシート」の評価を総合して選考します。	
	読解・表現力試験	すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。
	志望理由書を用いた「面接」	各志願者に対して数名の面接委員で，15分程度行います。
全 学 科	地域志向レポートに基づく「地域志向面接」	各志願者に対して数名の面接委員で，10分程度行います。

(2) 入試日程

学 科	期 日	事 項	時 間
全 学 科	令和8年11月14日(土)	受 付	8:20 ～ 8:40
		読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
		「面接」及び「地域志向面接」	10:30 ～ 18:00
	令和8年11月15日(日)	受 付	8:20 ～ 8:40
		「面接」及び「地域志向面接」	9:00 ～ 18:00

※志願者数により11月14日(土)のみ実施となる可能性があります。

※「面接」及び「地域志向面接」は，志願者数によって終了時刻を変更することがあります。

※試験当日，「面接」及び「地域志向面接」の試験時間内において，控室で待機している時間が長くなる場合があります。自習などができる準備をしておいてください。

(3) 配点

学 科	「調査書」，「活動報告書」及び「クローズアップシート」	読解・表現力試験	志望理由書を用いた「面接」	地域志向レポートに基づく「地域志向面接」	配点合計
全 学 科	80	100	100	50	330

4 採点・評価基準

学 科	項 目	採 点 ・ 評 価 基 準
全 学 科	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
	活動報告書	志願者が記述するもので，学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
	クローズアップシート	志願者が記述するもので，高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて，その活動にどう取り組んだのか，その振り返り等を評価します。
	読解・表現力試験	読み取った内容を理解し，それを記述する力があるかを評価します。
	志望理由書を用いた「面接」	志望理由書を用いて面接し，学習意欲・目的，知的好奇心・探究心，論理的思考力，志望する専門分野に関する科学的知識などを評価します。
	地域志向レポートに基づく「地域志向面接」	地域志向レポートに基づいて面接し，興味関心，地域貢献への意欲などを評価します。

5 合否判定基準

学 科	合 否 判 定 基 準
全 学 科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、地域志向レポートに基づく「地域志向面接」の得点の高い者を上位とします。
へるん特定型の地域志向入試を第1志望、へるん一般型を第2志望として併願した人は、第1志望が合格にならなかった場合、へるん一般型の選抜対象になります。その際、地域志向レポートに基づく「地域志向面接」の得点は加えないこととなります。	

生物資源科学部【へるん特定型】専門高校入試

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
農 林 生 産 学 科	5 名
環 境 共 生 科 学 科	7 名

2 出願要件

学 科	出 願 要 件
農 林 生 産 学 科	次の1に該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 高等学校又は中等教育学校の農業、工業、商業、水産、家庭、情報に関する学科又は総合学科（※）を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 （※総合学科：卒業に必要な単位のうち、農業、工業、商業、水産、家庭、情報に関する教科・科目について、20単位以上修得（見込み）の者） 備考 出願要件に掲げる学科に該当するかどうか不明な場合は、事前に松江地区学部等事務部学務課生物資源科学部入試担当まで照会してください。 （〒690-8504 松江市西川津町 1060 TEL：（0852）32-6256）
環 境 共 生 科 学 科	次の1に該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 高等学校又は中等教育学校の農業、工業、商業、水産、家庭、情報に関する学科又は総合学科（※）を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者で、調査書の学習成績概評がA段階であるもの （※総合学科：卒業に必要な単位のうち、農業、工業、商業、水産、家庭、情報に関する教科・科目について、20単位以上修得（見込み）の者） 備考 出願要件に掲げる学科に該当するかどうか不明な場合は、事前に松江地区学部等事務部学務課生物資源科学部入試担当まで照会してください。 （〒690-8504 松江市西川津町 1060 TEL：（0852）32-6256）

へるん特定型の専門高校入試を第1志望、へるん一般型を第2志望として併願することができます。
 この場合、併願は同一の学部学科に限ります。

3 入試方法、入試日程及び配点

(1) 入試方法

学 科	入 試 方 法
農 林 生 産 学 科 環 境 共 生 科 学 科	読解・表現力試験、志望理由書を用いた「面接」を課し、この得点と「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、専門教科の評定及び専門教科に関連する資格・検定の評価を総合して選考します。
	読解・表現力試験 すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。
	志望理由書を用いた「面接」 各志願者に対して数名の面接委員で、15分程度行います。

(2) 入試日程

学 科	期 日	事 項	時 間
農 林 生 産 学 科 環 境 共 生 科 学 科	令和8年11月14日（土）	受 付	8:20 ～ 8:40
		読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
		「面接」	10:30 ～ 18:00
	令和8年11月15日（日）	受 付	8:20 ～ 8:40
		「面接」	9:00 ～ 18:00

※志願者数により11月14日（土）のみ実施となる可能性があります。

※「面接」は、志願者数によって終了時刻を変更することがあります。

※試験当日、「面接」の試験時間内において、控室で待機している時間が長くなる場合があります。自習などができる準備をしておいてください。

(3) 配点

学 科	「調査書」,「活動報告書」及び「クローズアップシート」	読解・表現力試験	志望理由書を用いた「面接」	専門教科の評定及び専門教科に関連する資格・検定	配点合計
農 林 生 産 学 科 環 境 共 生 科 学 科	80	100	100	50	330

4 採点・評価基準

学 科	項 目	採 点 ・ 評 価 基 準
農 林 生 産 学 科 ， 環 境 共 生 科 学 科	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
	活動報告書	志願者が記述するもので、学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
	クローズアップシート	志願者が記述するもので、高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて、その活動にどう取り組んだのか、その振り返り等を評価します。
	読解・表現力試験	読み取った内容を理解し、それを記述する力があるかを評価します。
	志望理由書を用いた「面接」	志望理由書を用いて面接し、学習意欲・目的、知的好奇心・探究心、論理的思考力、志望する専門分野に関する科学的知識などを評価します。
	専門教科の評定及び専門教科に関連する資格・検定	専門分野に関する基礎学力と学習意欲を評価します。

5 合否判定基準

学 科	合 否 判 定 基 準
農 林 生 産 学 科 環 境 共 生 科 学 科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、志望理由書を用いた「面接」の得点の高い者を上位とします。
へるん特定型の専門高校入試を第1志望、へるん一般型を第2志望として併願した人は、第1志望が合格にならなかった場合、へるん一般型の選抜対象になります。その際、専門教科の評定及び専門教科に関連する資格・検定の得点は加えないこととなります。	

生物資源科学部【へるん特定型】グローバル英語入試

1 募集人員

学 科	募 集 人 員
生 命 科 学 科	3 名
農 林 生 産 学 科	
環 境 共 生 科 学 科	

2 出願要件

学科	出 願 要 件
全学科	次の1及び2の各号に該当し、合格した場合は、入学を確約できる者 1 次の①から③のいずれかに該当する者 ① 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者 ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者 ③ 学校教育法施行規則第150条の規定により、「高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者」及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者 2 2024年4月以降に実用英語技能検定((従来型の)英検, 英検 CBT, 英検 S-CBT, 英検 S-Interview のいずれも可)を受験し2級以上を取得した者, または2024年4月以降に GTEC (検定版 (Basic, Advanced), CBT タイプのいずれも可)を受験し930点以上を得点した者 [上記1の③に該当する者] ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 ウ 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者 エ 文部科学大臣の指定した者 オ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により, 文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者(同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)に基づく大学入学資格検定に合格した者を含む。)及び令和9年3月31日までに合格見込みの者で, 令和9年3月31日までに18歳に達するもの カ 学校教育法(昭和22年法律第26号)第90条第2項の規定により大学に入学した者であって, 高等学校卒業程度認定審査規則(令和4年文部科学省令第18号)による高等学校卒業程度認定審査に合格したもの及び令和9年3月31日までに合格見込みのもの キ 学校教育法(昭和22年法律第26号)第90条第2項の規定により大学に入学した者であって, 本学において大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの ク 本学において, 個別の入学資格審査により, 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で, 令和9年3月31日までに18歳に達するもの ※出願要件1の③の「ク」により出願を希望する者は, 事前に入学資格審査が必要です, 申請に関する詳細を教育・学生支援部入試課に問い合わせてください。 (申請期間: 令和8年8月24日~8月26日)

へるん特定型のグローバル英語入試を第1志望, へるん一般型を第2志望として併願することができます。この場合, 併願は同一の学部学科に限ります。

3 入試方法、入試日程及び配点

(1) 入試方法

学 科	入 試 方 法	
全 学 科	読解・表現力試験、志望理由書を用いた「面接」、グローバル英語入試志望理由書に基づく「英語面接」を課し、この得点と「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」、英語資格・検定試験の評価を総合して選考します。	
	読解・表現力試験	すべての教科の基本となる読解力・表現力を評価する全学共通問題です。
	志望理由書を用いた「面接」	各志願者に対して数名の面接委員で、15分程度行います。
	グローバル英語入試志望理由書に基づく「英語面接」	英語による面接を、各志願者に対して数名の面接委員で、10分程度行います。

(2) 入試日程

学 科	期 日	事 項	時 間
全 学 科	令和8年11月14日（土）	受 付	8:20 ～ 8:40
		読解・表現力試験	9:00 ～ 9:50
		「面接」及び「英語面接」	10:30 ～ 18:00
	令和8年11月15日（日）	受 付	8:20 ～ 8:40
		「面接」及び「英語面接」	9:00 ～ 18:00

※志願者数により11月14日（土）のみ実施となる可能性があります。

※「面接」及び「英語面接」は、志願者数によって終了時刻を変更することがあります。

※試験当日、「面接」及び「英語面接」の試験時間内において、控室で待機している時間が長くなる場合があります。自習などができる準備をしておいてください。

(3) 配点

学 科	「調査書」、「活動報告書」及び「クローズアップシート」	読解・表現力試験	志望理由書を用いた「面接」	英語資格・検定試験	グローバル英語入試志望理由書に基づく「英語面接」	配点合計
全 学 科	80	100	100	30	20	330

4 採点・評価基準

学 科	項 目	採 点 ・ 評 価 基 準
全 学 科	調査書	「学習成績の状況」を評価します。
	活動報告書	志願者が記述するもので、学校内外の活動を通して他者と協働した経験を評価します。
	クローズアップシート	志願者が記述するもので、高等学校段階の活動の中で最も力を入れて取り組んだものを一つだけ挙げて、その活動にどう取り組んだのか、その振り返り等を評価します。
	読解・表現力試験	読み取った内容を理解し、それを記述する力があるかを評価します。
	志望理由書を用いた「面接」	志望理由書を用いて面接し、学習意欲・目的、知的好奇心・探究心、論理的思考力、志望する専門分野に関する科学的知識などを評価します。
	英語資格・検定試験	英検準1級以上、またはGTEC1180点以上（30点） 英検2級、またはGTEC930点以上（15点） （加点対象にできるのは「実用英語技能検定」または「GTEC」のいずれか一つです。）
	グローバル英語入試志望理由書に基づく「英語面接」	グローバル英語入試志望理由書に基づいて、「英語面接」を行い、英語力及び英語力を活用し挑戦してみたいことなどについて評価します。

5 合否判定基準

学 科	合 否 判 定 基 準
全 学 科	総合点の高い順に合格とします。同点の場合は、グローバル英語入試志望理由書に基づく「英語面接」の得点の高い者を上位とします。
へるん特定型のグローバル英語入試を第1志望，へるん一般型を第2志望として併願した人は，第1志望が合格にならなかった場合，へるん一般型の選抜対象になります。その際，グローバル英語入試志望理由書に基づく「英語面接」，英語資格・検定試験の得点は加えないこととなります。	

共通事項

1 出願手続等

(1) 出願方法

出願はインターネット出願（インターネットによる志願者登録及び出願書類の提出）のみとします。92～95 ページの「インターネット出願の流れ」をよく読み、手続きを行ってください。

(2) 出願期間及び書類提出期限

インターネット出願登録の後、下記期間内に必ず届くように書類を郵送してください。

出願期間は令和 8 年 10 月 1 日（木）10 時から 10 月 7 日（水）17 時まで。

（インターネットでの「登録」については 9 月 24 日（木）10 時から可能です。）

出願書類の持参は、出願期間の最終日 10 月 7 日（水）のみ 9 時から 17 時まで入試課にて受け付けます。

郵送（「特定記録・速達」郵便に限る）による場合は、出願期間内必着としますが、これ以降に到着したものについては、10 月 6 日（火）までの消印のあるものに限り受理します。

(3) 入学検定料

支払期間 令和 8 年 9 月 24 日（木）10 時から 10 月 7 日（水）17 時

入学検定料 17,000 円

※災害等により入学検定料免除の特例措置を希望される方は、事前に申請が必要となりますので、本学ホームページ (<https://www.shimane-u.ac.jp>) の「入試情報」→「学部入試」→「入学検定料免除について」をご確認ください。

本学の「インターネット出願ページ (<https://e-apply.jp/ds/shimane-u/>)」より出願し、志願者登録後、入学検定料決済を行ってください。入学検定料の支払方法は、「インターネット出願ページ (<https://e-apply.jp/ds/shimane-u/>) Step4 お支払い 支払方法」により確認してください。

なお、以下の場合を除き、支払われた入学検定料は、いかなる理由があっても返還することができません。

① 第 1 次選考により不合格となった場合は、13,000 円を返還します。

入学検定料の返還請求手続きについては、第 1 次選考結果を通知する際に同封しますので、所定の期日までに手続きを行ってください。

② 出願（インターネットによる志願者登録及び出願書類の提出）したが、受理されなかった場合該当者に連絡しますので、所定の期日までに手続きを行ってください。

③ 入学検定料を払い込んだが、島根大学に書類を提出しなかった場合

④ 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合

上記③又は④に該当した場合は、支払われた入学検定料を返還することができますので、令和 8 年 11 月 11 日（水）までに本学のホームページ (<https://www.shimane-u.ac.jp>) の「入試情報」→「学部入試」→「インターネット出願による入学検定料の返還手続き」をご確認のうえ申請してください。

問合せ先：財務部経理・調達課出納担当（TEL：0852-32-6029）

(4) 出願書類

志願者は、「出願書類提出用封筒※」に、次の書類等を取りそろえて、提出してください。

※出願書類提出用封筒

本学の「インターネット出願ページ (<https://e-apply.jp/ds/shimane-u/>)」より出願し、志願者登録、入学検定料決済を行った後、「出願書類提出用封筒宛名シート」をダウンロードし、印刷して市販の角形 2 号封筒（24cm×33.2cm）に貼り付けて作成してください。

（出願書類を持参される場合も必ず貼り付けて作成してください。）

入学志願票

本学の「インターネット出願ページ (<https://e-apply.jp/ds/shimane-u/>)」より出願し、志願者登録、入学検定料決済を行ってください。

その後、「入学志願票」をダウンロードし、印刷してください。

なお、入学志願票とともに印刷する「宛名シート」はカラー印刷が望ましいが、できない場合は「速達」及び「特定記録」は朱書き又はスタンプを押してください。

写真データ (データアップロードのみ)	写真は、本学の「インターネット出願ページ (https://e-apply.jp/ds/shimane-u/)」にて出願前 3 か月以内に正面向、上半身、無帽、背景なしで撮影した鮮明な写真をアップロードしてください。(96 ページの「写真データの提出について」を参照してください。)	
調査書等	出願要件を参照し、該当する証明書類を提出してください。 ※①に該当する者のうち調査書を提出できない者、または②、③に該当する者は令和 8 年 9 月 18 日（金）までに以下の問合せ先に連絡してください。 問合せ先：島根大学教育・学生支援部入試課 TEL 0852-32-6073	
	出願要件	証明書類
	① 高等学校又は中等教育学校卒業(見込)者	調査書(文部科学省所定の様式により学校長が作成し、厳封したもの。) ※出身高等学校等において指導要録が保存年限を超えるなどの理由により調査書を提出できない場合は、卒業証明書を提出してください。 卒業証明書が提出できない者は、提出できない旨の証明書を出身学校から取り寄せ提出してください。
	② 通常のカリキュラムによる 12 年の学校教育修了(見込)者 ※特別支援学校の高等部及び高等専門学校第 3 年次修了(見込)者	文部科学省の定めた調査書に準じて作成したもの
	③ イ ウ エ オ	7 外国において学校教育における 12 年の課程修了(見込)者
		卒業(修了)証明書及び成績証明書 ※日本国の高等学校に在学したことがある場合には、在学高等学校の調査書を併せて提出してください。
		イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程修了(見込)者
		文部科学省の定めた調査書に準じて作成したもの
		ウ 文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科修了(見込)者
		成績証明書
		エ 国際バカロレア資格取得者
		資格証書の写しと I B 最終試験 6 科目の成績証明書
		オ アビトゥア資格取得者
		一般的大学入学資格証明書の写し
	イ エ オ	フランス共和国のバカロレア資格取得者
		バカロレア資格試験成績証明書の写し
		G C E A レベル資格取得者
		G C E A レベル試験の成績評価証明書
	イ エ オ	国際 A レベル資格取得者
		国際 A レベル試験の成績評価証明書
		欧州バカロレア資格取得者
		バカロレア資格試験成績証明書の写し
	イ エ オ	国際的な評価団体 (WASC, ACSI, CIS, NEASC, Cognia, COBIS) の認定を受けた教育施設の 12 年の課程修了(見込)者
		修了(見込)証明書及び当該教育施設が左記団体から認定を受けていることが明記された成績証明書
	オ 高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定)合格者	合格成績証明書 ※免除科目がある場合は、免除に係る証明書類(高校等在学期間中の調査書又は成績証明書、各種技能検定の合格証明書等を併せて提出してください。

調査書等	③	カ	学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって，高等学校卒業程度認定審査規則による高等学校卒業程度認定審査に合格（見込）したもの	合格証明書，高等学校及び大学の成績証明書
		キ	学校教育法第 90 条第 2 項の規定により大学に入学した者であって，本学において大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの	本学へ問い合わせてください。
		ク	個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で， 18 歳に達するもの	本学へ問い合わせてください。
		※廃校又は被災その他の事情により，出身学校長が作成する調査書を提出することができない場合は，その理由を詳記して，卒業証明書，成績通信簿等，その他志願者が提出できる書類を提出してください。 該当する者については，試験等期間内に面接を行うことがあります。		
活動報告書	本学所定の様式により，志願者本人が記載要領に基づいて記入したもの。 （本学所定の様式は，ホームページからダウンロードしてください。）			
クローズアップシート	本学所定の様式により，志願者本人が記載要領に基づいて記入したもの。 （本学所定の様式は，ホームページからダウンロードしてください。）			
志望理由書	本学所定の様式により，志願者本人が記載要領に基づいて記入したもの。 （本学所定の様式は，ホームページからダウンロードしてください。）			

地域志向入試出願者

地域志向レポート	法文学部・人間科学部・総合理工学部・材料エネルギー学部・生物資源科学部の志願者のみ 本学所定の様式により，志願者本人が記載要領に基づいて記入したもの。 （本学所定の様式は，ホームページからダウンロードしてください。）
教職への学びレポート	教育学部学校教育課程Ⅰ類の志願者のみ 本学所定の様式により，志願者本人が記載要領に基づいて記入したもの。 （本学所定の様式は，ホームページからダウンロードしてください。）

専門高校入試出願者

資格・検定試験	総合理工学部数理データサイエンス・IT・デジタル分野及び生物資源科学部の志願者のみ 資格・検定試験の取得証明書の写しまたは合格証明書の写し
---------	--

グローバル英語入試出願者

グローバル英語入試志望理由書	本学所定の様式により，志願者本人が記載要領に基づいて記入したもの。 （本学所定の様式は，ホームページからダウンロードしてください。）
英語資格・検定試験得点証明書	英検：合格証明書の写し GTEC：オフィシャルスコア証明書の写し

スポーツ 活動調書	教育学部学校教育課程Ⅱ類保健体育科教育専攻の志願者のみ 本学所定の様式により、志願者本人が記載要領に基づいて記入したもの。 (本学所定の様式は、ホームページからダウンロードしてください。)
伴奏用楽譜	教育学部学校教育課程Ⅱ類音楽科教育専攻の志願者のうち「声楽」選択者のみ 教育学部学校教育課程Ⅱ類音楽科教育専攻の志願者で、特技試験において「声楽」を選択した方は、伴奏用楽譜を提出してください。
美術活動 調書A 美術活動 調書B	教育学部学校教育課程Ⅱ類美術科教育専攻の志願者のみ 本学所定の様式により、志願者の活動の成果であることを証明する者（教科及び部活動の担当教員、学級担任教員、その他美術の専門的知識・経験を有する者等）が記載要領に基づいて記入したもの。 (本学所定の様式は、ホームページからダウンロードしてください。)

※ 志望理由書等の様式の掲載ホームページアドレス <https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/>

(5) 受験票のダウンロード

10月27日（火）以降に受験票ダウンロード及び印刷してください。

- ① 令和8年10月27日（火）に、以下A、Bの該当者に対し、出願時に登録したメールアドレスへ「受験票ダウンロード通知メール」を送信しますので、必ず確認してください。その後、受験票をダウンロードし、印刷してください。（「受験票ダウンロード通知メール」の確認が確実にできるよう、常時利用しているメールアドレスを登録しておいてください。）
 - A 第1次選考が無い場合及び実施しなかった場合、志願者全員
(第1次選考の実施の有無については、本学ホームページ上
<https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/>に掲載します。)
 - B 第1次選考を実施した場合、第1次選考合格者
※第1次選考不合格者には、「選考結果通知書」及び「検定料返還請求書」を郵送で送付します。なお、第1次選考合格者には、「選考結果通知書」を送付しません。
- ② 受験票は、試験当日、入学手続の際に必要となりますので、大切に保管しておいてください。
- ③ 詳細なダウンロード方法は、97ページの「受験票ダウンロードについて」を参照してください。

(6) 願書送付先及び問合せ先

〒690-8504 松江市西川津町 1060
島根大学教育・学生支援部入試課
TEL : (0852) 32-6073

2 出願上の留意事項

- (1) 出願後の入試区分、志願学部及び学科等の変更は認められません。
- (2) 出願登録及び書類に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- (3) 出願登録及び書類等に不備がある場合には、受理しないことがあります。
- (4) 受理した出願書類等については、いかなる理由があっても返還しません。また、出願登録内容及び書類の記載内容の変更も認めません。
- (5) 改姓（名）をした者は、志願票の氏名と異なる旧姓（名）の記載された調査書等も使用できます。なお、この場合は改姓（名）された日付と新旧姓（名）を入学志願者本人が記入した文書（様式は任意です。）を添付してください。

3 試験場

島根大学松江キャンパス（松江市西川津町 1060）

J R 松江駅から島根大学・川津方面行きバスに乗り、「島根大学前」で下車（所要時間約 20 分）。島根大学松江キャンパスの位置は 88 ページを参照してください。

【注意事項】

J R 松江駅、米子駅及び島根大学松江キャンパス周辺等で、試験当日等に行われる「合否至急電話連絡」等の勧誘については、本学とは一切関係ありません。これらのことから生じるトラブルに対して本学は一切責任を負いませんので、十分注意してください。

4 受験上の留意事項

- (1) 入試に不正があった場合には、入学を許可しません。
- (2) **受験者は、試験当日必ず島根大学受験票を持参してください。**
- (3) 試験場に受験者等の車（自動二輪車を含む。）の駐車はできません。
- (4) 試験場の下見は、試験前日の 13 時から 17 時の間です。**ただし、建物内へは入れません。**

5 合格発表

- (1) 合格者には出願時にご登録されたメールアドレス宛に通知します。また、合格者の受験番号を本学のホームページにも掲載します。（ホームページアドレス <https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/>）
メールや電話等による可否の照会には応じません。
- (2) 合格発表日時
令和 8 年 12 月 1 日（火）11 時
- (3) 令和 8 年 12 月 2 日（水）までにメールが届かない場合は、教育・学生支援部入試課へ申し出てください。

6 入学手続

- (1) 入学手続期間
令和 8 年 12 月 2 日（水）から 12 月 8 日（火）17 時まで
入学手続専用サイトで手続き後、必要書類を印刷し、直接本学松江キャンパスに持参するか、又は郵送により、手続きを行ってください。
郵送の場合も 12 月 8 日（火）17 時までに必着としますので注意してください。
なお、入学手続きに関する詳細は、合格者に別途お知らせします。
【注意事項】
ア 総合型選抜合格者は、他の国公立大学（独自日程で入試を行う公立大学・学部を除く）を受験しても合格者とはなりません。ただし、特別の事情があり、令和 9 年 2 月 17 日（水）までに「入学辞退届」を提出し、許可された場合を除きます。この場合、入学料は返還できません。
イ 国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、氏名、大学入学共通テストの受験番号、総合型選抜の合格及び入学手続き等に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学へ提供します。
- (2) 入学手続時に必要な経費
入学料 282,000 円（予定額）
※ 入学手続時までに改定が行われた場合には、新入学料が適用されます。
- (3) ノートパソコンの必携化についてのご案内
本学では、オンライン学修の促進、対面授業の学修効果の向上、情報機器に関する基礎的な知識の習得及び各種配布物や提出物のペーパーレス化等を推進することなどを目的として、ノートパソコンを必携化しています。
ノートパソコンの必携化とは、教員から指示があった場合に、ノートパソコンを活用できる状態にしておくことを言います。
令和 9(2027)年度の学部新入生に対する推奨スペックなど詳細については、11 月頃に以下の Web サイトで公表予定です。
https://www.shimane-u.ac.jp/education/school_info/notice/note_pc.html
(参考) 経済的理由等によりノートパソコンを用意することが困難な方へ
経済的理由等によりノートパソコンを用意することが困難な学生のうち、本学が定める条件を満たす希望者には、本学からノートパソコンを 1 年間無償で貸与します。本学が定める条件については、入学手続時にお知らせします。
- (4) 提出先及び手続場所
〒690-8504 松江市西川津町 1060
島根大学教育・学生支援部入試課
TEL:0852-32-6073

7 入学前教育

- 合格者には入学前教育として、
- (1) オンラインによる「入学前セミナー」への参加
 - (2) Web による英語の学習
 - (3) Moodle による各学部が指定する課題
- を課します。入学前教育の詳細は、合格者に通知します。

8 地域人材育成コースカリキュラム

地域志向入試合格者は，“島根大学地域人材育成コース”のHPを必ず確認してください。入学後に必要な情報が随時更新されます。

島根大学地域人材育成コースホームページ

【<https://www.reg-collab.shimane-u.ac.jp/CRE/index.html>】

9 授業料について

授業料は入学後にお支払いいただくこととなります。

- (1) 授業料の額 (前期分) 267,900 円 (後期分) 267,900 円 【年額 535,800 円】

※ 入学時及び在学中に改定が行われた場合には，新授業料が適用されます。

- (2) 授業料のお支払方法

授業料のお支払いは，預貯金口座からの「口座振替」を原則としています。

Ⅱ 障がい等を有する志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障がい等（視覚障がい、聴覚・言語障がい、肢体不自由、病弱・虚弱、重複障がい、発達障がい、精神障がい、その他の障がい等）があり、受験上及び修学上配慮を必要とする場合は、次により相談してください。特に受験上の配慮を必要とする場合、本学での検討及び準備に要する期間が必要なため、事前相談の期限までにご連絡ください。

なお、上記以外で健康上の理由から受験又は修学に際して配慮を必要とする場合は、次の「**3 連絡先**」に相談してください。

1 事前相談の方法

本学所定の様式（以下「相談書」という。様式は島根大学ホームページからダウンロードしてください。）に障害者手帳の写又は医師の診断書の写等を添付し「**2 事前相談の期限**」までに「**3 連絡先**」へ提出してください。

本学が必要と認めた場合には、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談を行います。

主な配慮事項の例

「解答方法」や「試験時間」に関する配慮	「試験室や座席」に関する配慮	「持参使用するもの」に関する配慮
・代筆解答 ・試験時間の延長	・出入口近くの座席 ・トイレに近い試験室 ・前列の座席	・補聴器 ・杖 ・車椅子 ・読書補助具

2 事前相談の期限

事前相談の期限：令和8年9月11日（金）

本学からの回答書の送付までに3週間程度かかりますので、できるだけ早い時期に相談してください。

3 連絡先

〒690-8504 松江市西川津町 1060 島根大学教育・学生支援部入試課

TEL：(0852)32-6073 FAX：(0852)32-9726

E-mail：epd-nnyushi@office.shimane-u.ac.jp

III 交通案内・キャンパス位置図

1 キャンパス位置図



■交通案内

※記載の時間は乗車の目安であり、記載と異なる場合があります。最新の運行状況をご確認ください。

松江キャンパス

空路

東京（羽田）→出雲	約1時間25分
福岡→出雲	約1時間 5分
名古屋（小牧）→出雲	約1時間
大阪（伊丹）→出雲	約50分
※出雲空港から空港連絡バス松江線（約35分）JR松江駅下車	
東京（羽田）→米子	約1時間20分
※米子空港から空港連絡バス松江線（約45分）JR松江駅下車	

JR

東京→岡山→松江	約6時間15分
福岡→岡山→松江	約4時間30分
大阪→岡山→松江	約4時間

高速バス

東京（東京駅）→松江	約11時間15分
大阪（梅田）→松江	約4時間40分
岡山→松江	約3時間10分
広島→松江〔特急便〕	約3時間
福岡→松江	約8時間30分

JR松江駅より

■市営バス

北循環線内回り	
島根大学前下車	約15分
島根大学・川津行	
島根大学前下車	約20分

■一畑バス

美保関ターミナル行	
島根大学前下車	約20分
島根大学・川津行	
島根大学前下車	約20分



2 キャンパス見取図

◇松江キャンパス



Ⅳ 入試に関する情報提供

令和 9 年度入試については、次のとおり公表・提供します。

1 合格者成績情報

各学部、学科、課程・専攻ごとの合格者の最高点、最低点及び平均点を本学のホームページにより、令和 9 年 4 月中に公表します。ただし、募集人員又は合格者が 10 名程度の場合など、公表すると個人が特定できるような場合は公表しません。

2 試験問題

入試問題の閲覧希望に応えるために、出題した試験問題を本学ホームページに、令和 9 年 5 月以降に掲載します。ただし、著作権の関係で問題を掲載できない場合があります。

なお、令和 5 年度～令和 8 年度入試に出題した試験問題については、本学ホームページに掲載中です。ただし、著作権の関係で問題を掲載していないものがあります。

3 出題意図

出題した試験問題の出題意図を本学ホームページにより、令和 9 年 5 月以降に公表します。

4 申請により本人に提供する情報

令和 9 年度総合型選抜 I 受験者の個人成績については、開示希望者に対して次のとおり開示します。

(1) 開示内容

教科・科目に係る個別テスト等の得点並びに総合順位（ランク区分）を開示します。

(2) 申請方法

① 成績開示を希望する場合は、インターネット出願サイトにおける出願登録時に「入試成績開示申請」の欄を「申請する」と選択してください。なお、この登録期間以外に開示申請登録を行うことはできませんので、注意してください。

② 出願内容の確認画面で、選択が正しく反映されているかご確認ください。

(3) 開示方法

インターネット出願サイトにアクセスし、出願の際に作成したマイページにログインしてください。「申込内容を確認する」をクリックすると、個人成績が表示されます。

(4) 開示期間

令和 9 年 5 月 1 日（土）～令和 9 年 5 月 31 日（月）まで

○ 注意事項

(1) 入試情報の開示には、マイページ登録時の【メールアドレス・パスワード】が必要になります。

マイページ登録の際は、必ず次年度以降も使用できるメールアドレスを登録してください。

(2) 総合順位のランク区分は、上位から 10 名単位を 1 ランクとして表記します。

5 問合せ先

教育・学生支援部 入試課 TEL : (0852) 32-6073 FAX : (0852) 32-9726

E-mail : epd-nnyushi@office.shimane-u.ac.jp

V 個人情報の取扱い

入学志願者・受験者の個人情報について、次のとおり取り扱います。

出願時に記入された個人情報（氏名、生年月日、性別その他の個人情報等）は、入学者選抜、合格通知及び入学手続きを行うために利用します。

また、同個人情報は、合格者の入学後の教務関係（学籍管理、修学指導、教育課程の改善等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除、奨学金申請、就職支援等）、授業料徴収に関する業務及び調査・研究（入学者選抜方法の改善や志望動向の調査・分析等）を行う目的をもって本学が管理します。他の目的での利用及び本学の関係職員以外への提供は行いません。

ただし、国公立大学の入学者選抜における合格者決定業務を円滑に行うため、氏名、大学入学共通テストの受験番号、合否及び入学手続き等に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に提供します。

なお、取得した個人情報に係る業務を外部委託する場合は、本学の個人情報取扱規則等に従い、適切に管理します。

その他島根大学における個人情報の取扱いについては下記のURLをご参照ください。

https://www.shimane-u.ac.jp/introduction/information/personal_data/personal_data02.html

VI 学生支援制度等

1 学生支援制度について

(1) 入学料減免、授業料減免制度について

国の高等教育の修学支援新制度により、日本学生支援機構の給付奨学金に採用された方（多子世帯を含む）は、入学料減免、授業料減免を受けることができます。本制度の詳細は以下のホームページでご確認ください。

○高等教育の修学支援新制度の概要（文部科学省 HP）

→ <https://www.mext.go.jp/kyufu/>

○給付奨学金の制度概要（日本学生支援機構 HP）

→ <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/index.html>

(2) 入学料徴収猶予について

次に掲げる「徴収猶予の基準」のいずれかに該当する方については、選考のうえ、入学料の徴収を猶予することがあります。

徴収猶予の基準

- ① 経済的理由により支払期限までに入学料の支払いが困難であり、かつ、学業優秀と認められる方
- ② 入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は入学する方若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたこと等により、支払期限までに入学料の支払いが困難であると認められる方

(3) 授業料等奨学融資制度（ローン）について

学生が、本学の提携銀行である山陰合同銀行から、授業料相当額及び入学料相当額の融資を受け（本学及び銀行の審査があります）、卒業後返済する制度で、授業料及び入学料の支払いに困らないように学生への支援の一つとして設けたものです。制度の概要は次のとおりです。

- ① 在学中は、本学が奨学援助金として利息を負担し、銀行へ支払います。
- ② 授業料についての申請時期は、前期は7月、後期は翌年1月を予定しています。入学料については、入学料徴収猶予を許可された学生を対象に、4月入学は6月、10月入学は12月が申請の時期となる予定です。
- ③ 日本学生支援機構等の奨学金利用者も申請できます。
- ④ 学生が山陰合同銀行と融資契約を締結します。

(4) 奨学金制度について

本学独自の奨学金制度として「島根大学夢チャレンジ奨学金」を設けています。学部生に対し20万円を給付します。詳しくは本学HPをご確認ください。

その他の奨学金として、日本学生支援機構、地方公共団体、民間の事業団体による育英制度の奨学金があり、毎年多くの学生が貸与・給付を受けています。

地方公共団体の奨学金については、都道府県市区町村の教育委員会では取り扱っているものも多数ありますので、出身地等の教育委員会へ照会してください。

2 学生教育研究災害傷害保険・学生教育研究賠償責任保険制度について

学生教育研究災害傷害保険は、インターンシップ・介護体験活動・教育実習等を含む学生の正課中、学校行事中、課外活動中及び学校施設内などでの教育研究活動中の急激かつ偶然な外部からの作用によって生じる事故により身体に傷害を負った場合に保険金が支払われるものです。

また、同じく上記活動中に他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害について保険金が支払われる学生教育研究賠償責任保険というものもあり、本学では両方への加入をお勧めしています。

3 住まいについて

(1) 学生寮

完全個室型のA棟（定員 168 名）と、半個室型のB棟（定員 91 名）・完全個室型のC棟（定員 59 名）があります。

令和 9 年度の募集については、11 月頃ホームページ等でお知らせします。

担当：教育・学生支援部学生支援課 TEL：(0852)32-6009 または(0852)32-9764

(2) アパート・マンション等

学生生活に適したアパート・マンション等の紹介を島根大学生生活協同組合が行っています。

4 その他

1～3に関する詳細については、合格者に対して入学手続き時にお知らせします。

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



事前準備

インターネットに接続されたパソコンとプリンターを用意してください。(スマートフォン、タブレットは非推奨)

必要書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、

出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

詳しくは学生募集要項をご覧ください。

※必要書類…調査書、写真など



STEP 1

1

インターネット出願サイトにアクセス

インターネット
出願サイト

<https://e-apply.jp/ds/shimane-u/>

または、
大学ホームページ
からアクセス

<https://www.shimane-u.ac.jp/>



STEP 2

2

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。

なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP3に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた「初期パスワード」にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦表示された個人情報を入力して
次へ を
クリックしてください。
※成績開示を希望する場合は、
「入試成績開示申請」の欄を
「申請する」と選択してください。



⑧個人情報を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ
をクリックしてください。

⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。

STEP

3



出願内容の登録

申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。
ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
から登録画面へ



②入試選択と留意事項の確認



③志望学部等の選択



④顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
写真を選択します。



⑤個人情報(氏名・住所等)の
入力



⑥出願内容の確認及び登録
※志願票のテスト出力が出来ますので、誤りがないか必ず確認してください。



⑦申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
(イメージ)
※検定料納入後に出力可能となります。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」又は「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、**支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号**を控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストア又はペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号
メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号
メモ(11桁)

確認番号
メモ(6桁)

収納機関番号
(5桁)

5:8:0:2:1

※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

受付完了後、募集要項記載の日時に受験票ダウンロード通知がメールで送信されます。



※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

4



入学検定料のお支払い

※お支払いには期限がありますのでご注意ください。

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



マルチコピー機

あなとも、コンビニ、
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

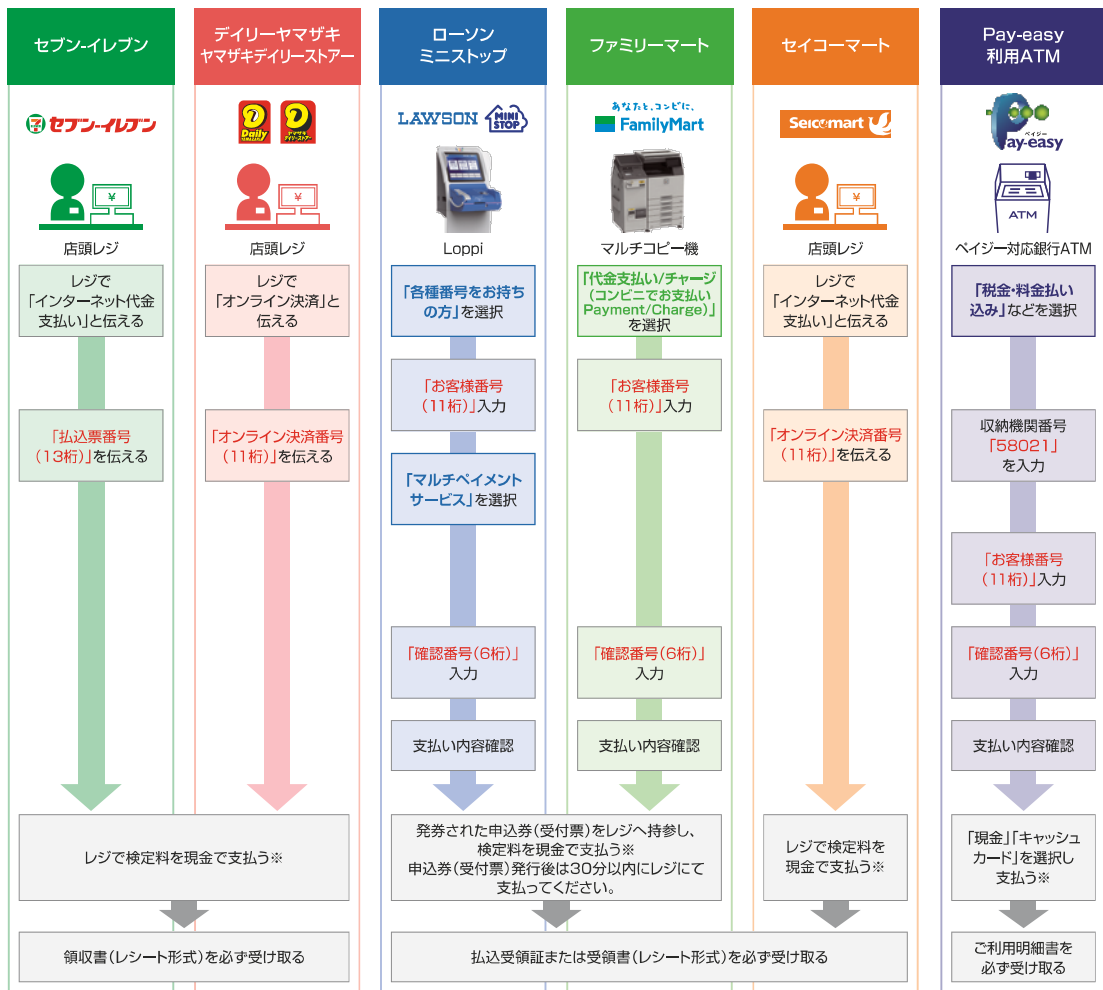


※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

4 銀行ATM



※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

5

必要書類の印刷

「出願内容の確認／志願票・受験票の印刷」ボタンよりログインし、志願票等必要書類を印刷してください。



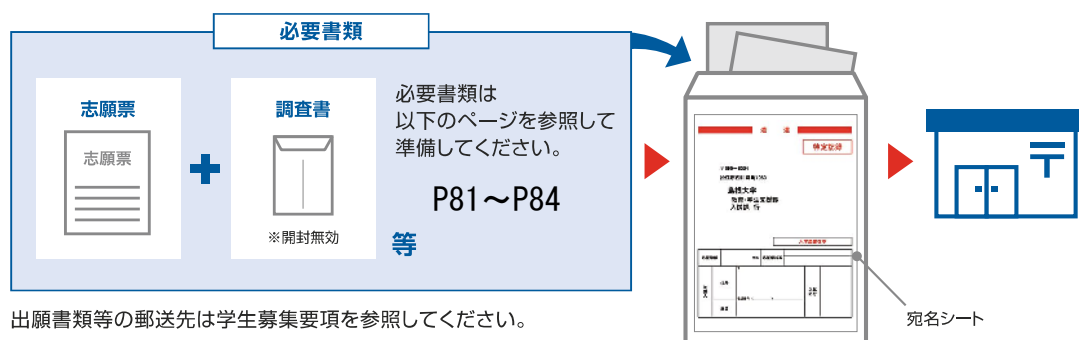
STEP

6

必要書類の郵送

登録ただけでは出願は完了していませんので注意してください。

登録完了画面、または確認メールに記載されている必要書類を出願期間内に郵便局窓口から「特定記録・速達郵便」で郵送してください。(書類提出期限等は学生募集要項で確認してください)



■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。
出願に必要な書類は各学生募集要項を参照してください。

※出願受理した入学検定料・必要書類は一切返却しません。

出願書類提出用封筒宛名シート

市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)に貼り付けて作成(出願書類を持参される場合も必ず貼り付けて作成してください)

〈出願完了〉

出願時の
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、必要書類を郵送(提出期限内に必着)して完了となります。登録ただけでは出願は完了していませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。ただし、出願登録及び入学検定料の支払いは出願締切日17時まで(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)です。必要書類の郵送は各学生募集要項で定められた期限内に行ってください。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7

受験票の印刷

受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したアドレスへメールにて通知します。

必ず印刷して、試験当日に持参してください。

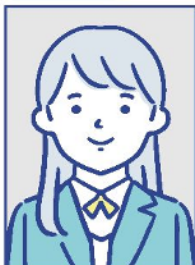


写真データの提出について

1. デジタルカメラ等で写真を準備する。

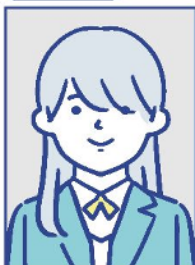
(ファイル形式は jpeg, jpg, png, bmp, ファイルサイズは 10MB まで)

良い例



- ・ 出願前 3 ヶ月以内に撮影した正面，上半身，無帽で鮮明なもの
- ・ 背景が白又はグレー等（カーテンや窓等が映っていないもの）
- ・ 顔の大きさが少なくとも写真の 2 分の 1 以上ある
- ・ 両目が確認できる
- ・ 肩の一部が写っている
- ・ 写真は縦 4 × 横 3 の比率のものが望ましい

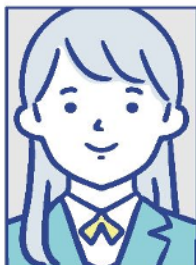
悪い例



× 前髪が目にかかっている



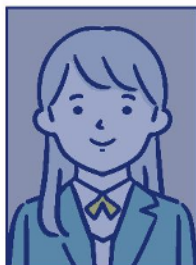
× 顔が小さすぎる



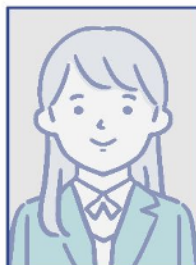
× 顔が大きすぎる



× 背景が暗すぎる



× 写真が暗すぎる



× 写真が明るすぎる

2. 写真データをパソコン等からアップロードできるよう準備する。

- ・ デジタルカメラで撮った写真データをパソコン等へコピーする。
- ・ ファイルサイズが 10MB までであることを確認する。

(写真データを右クリックし、ファイルサイズを確認する。)

※インターネット出願システムで写真をアップロードする際に、縮小・拡大，上下左右への移動等，ある程度の加工は可能ですが，あらかじめ上記の「良い例」に示した写真を準備しておいた方がスムーズに出願できます。

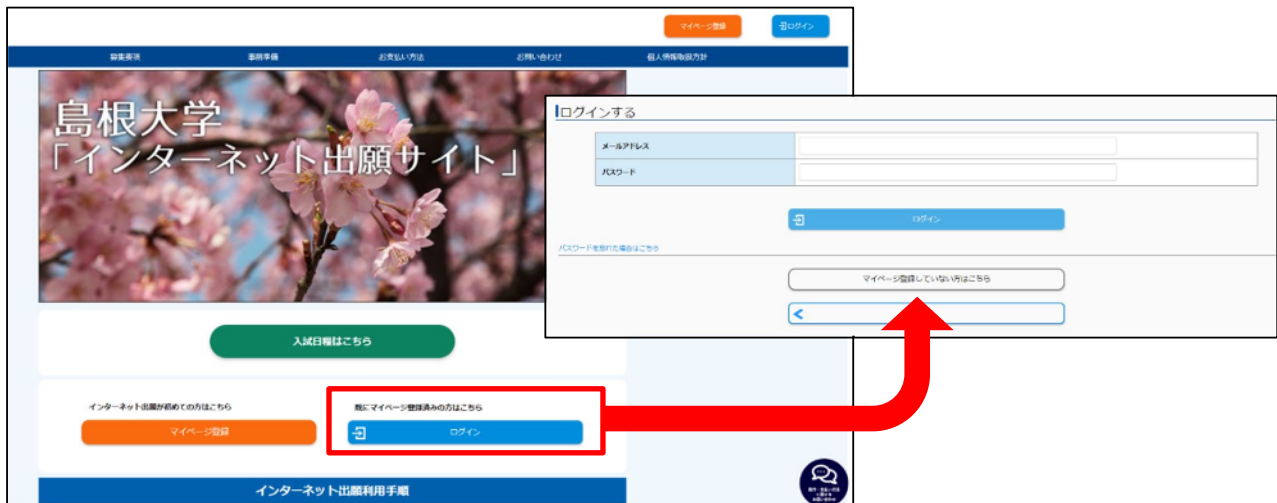
3. その他

- ・ スマートフォン等で撮影したものでも構いませんが，ファイルサイズが 10MB 以下になるよう注意してください。

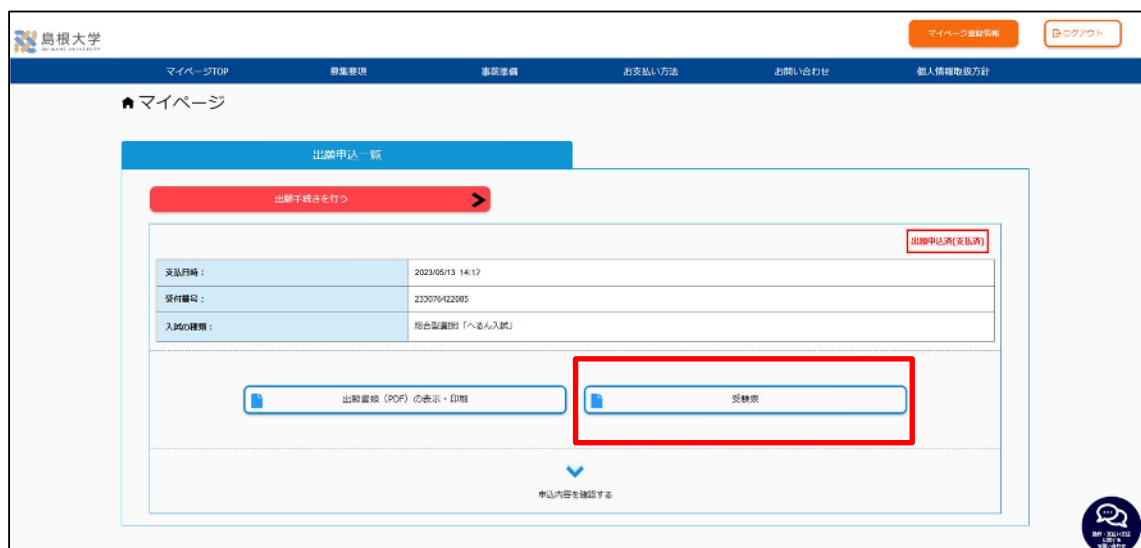
受験票ダウンロードについて

【STEP1】 志願者より郵送される出願書類を本学にて確認後、インターネット出願時に登録したメールアドレスへ「no-reply@e-apply.jp」より、受験票ダウンロード通知メールを送付します。

【STEP2】 受験票ダウンロード通知メールを受信後、マイページにログインします。マイページにログインするには登録時の【メールアドレス・パスワード】が必要になります。



【STEP3】 ログイン後、受験票（PDF）をダウンロードし、**印刷して試験当日に持参してください。**



島根大学入試情報提供サービス

○島根大学ホームページ 入試情報 <https://www.shimane-u.ac.jp/nyushi/>

入学者選抜の実施方法や出願状況等について、ホームページ上で情報提供しています。

- ・出願状況《総合型選抜Ⅰ「へるん入試」：10月1日～10月7日》
- ・総合型選抜Ⅰの第1次選考実施の有無《10月27日》
- ・合格者の発表：合格者の受験番号をホームページ上に掲載します。

○携帯電話サイト <https://daigakujc.jp/shimane-u>

本学の資料請求方法、出願状況速報、合格発表などの各種情報を携帯電話で閲覧できます。



入試等に関するお問い合わせは以下の電話番号におかけください。

【受付時間：月曜日～金曜日 8:30～17:15】

(祝日、夏季休業8月13日～8月15日、年末年始12月29日～1月3日を除く)

事項	電話番号
法文学部に関すること	(0852) 32-6032
教育学部に関すること	(0852) 32-6035
人間科学部に関すること	(0852) 32-6333
総合理工学部に関すること	(0852) 32-6042
材料エネルギー学部に関すること	(0852) 32-6661
生物資源科学部に関すること	(0852) 32-6256
学生寮に関すること	(0852) 32-6009
入学科・授業料免除、奨学金に関すること	(0852) 32-6063
就職に関すること	(0852) 32-6061
その他入試に関すること全般	(0852) 32-6073

島 根 大 学

教育・学生支援部入試課

〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060
TEL：(0852) 32-6073 FAX：(0852) 32-9726
E-mail：epd-nnyushi@office.shimane-u.ac.jp